

「第5次唐津市男女共同参画基本計画」策定のための
意識調査結果の概要

I	調査の概要	2
II	市民意識調査	2
III	企業アンケート	17
IV	中学生意識調査	28
V	職員意識調査	36

令和6年2月

唐津市

I 調査概要

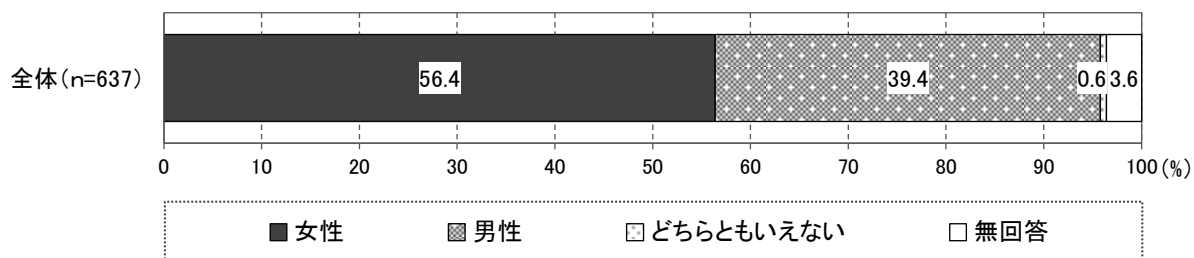
	市民	企業	中学生	市職員
調査対象	18歳以上男女	10人以上全企業	市内中学2年生	市役所職員
対象者数	2,000人	491社	1,230人	1,272人
抽出方法	無作為抽出	全数	全員	全員
調査方法	郵送・WEB併用	郵送・WEB併用	学校配布・回収	WEB
回収数	637票	162票	1,029票	929票
回収率	31.9% 前回：31.6%	33.0% 前回：43.9%	83.7% 前回：93.6%	73.0% 前回：71.4%

II 市民意識調査結果の概要

1. 回答者の属性

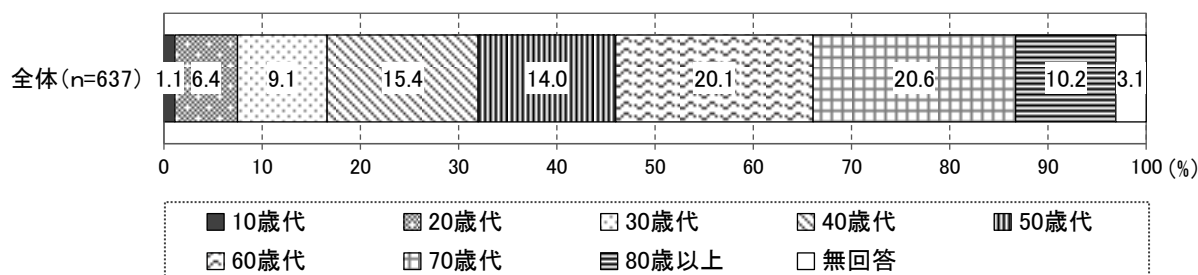
Q1 性別

「女性」が56.4%、「男性」が39.4%となっています。前回調査と大差はありません。



Q2 年齢 (年代)

「70歳代」が20.6%と最も高く、次いで、「60歳代」(20.1%)、「40歳代」(15.4%)の順となっています。前回調査と比べると「70歳代」が3.9ポイント高くなっています。前回調査と大差はありません。

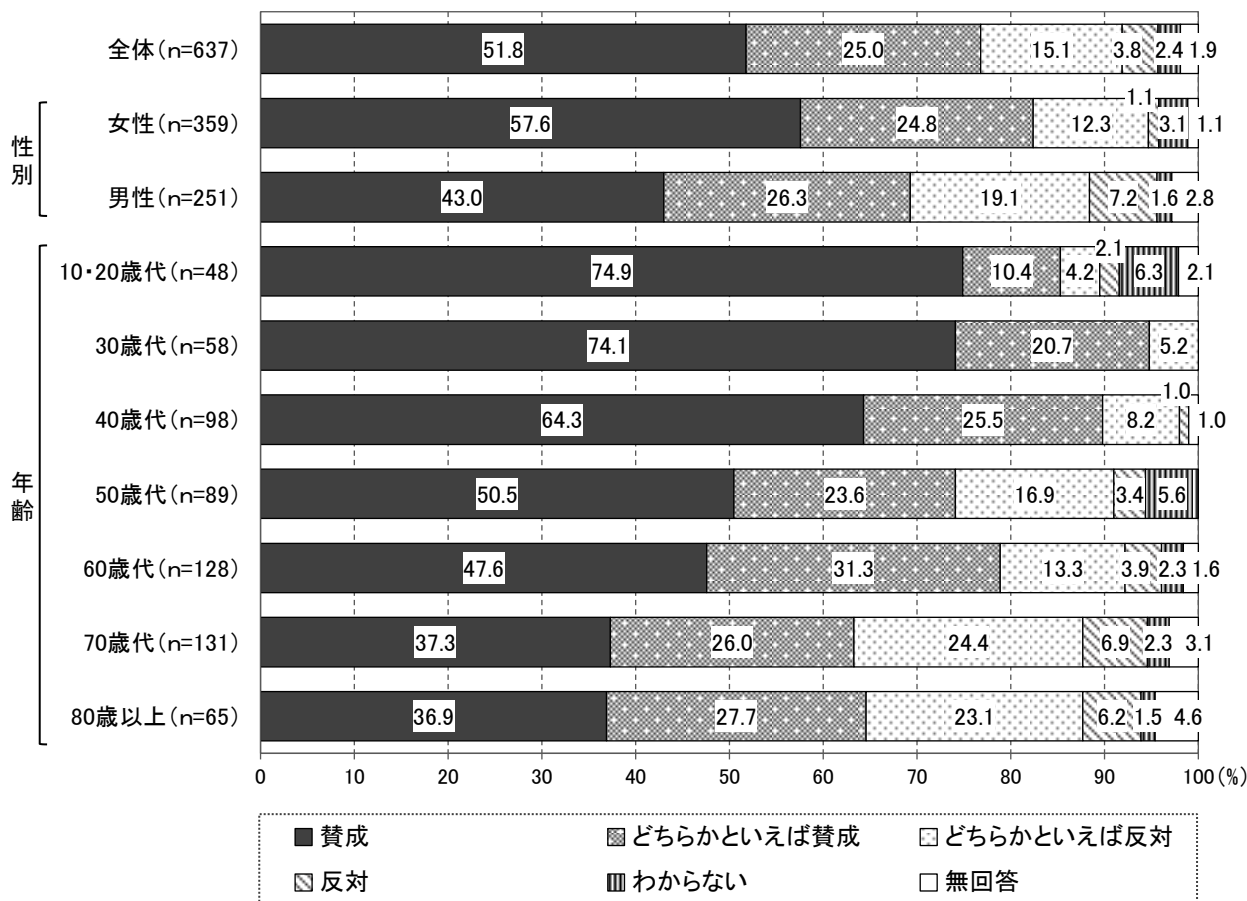


2. 結婚や家庭生活について

問1 あなたの考えに近いものは何ですか。

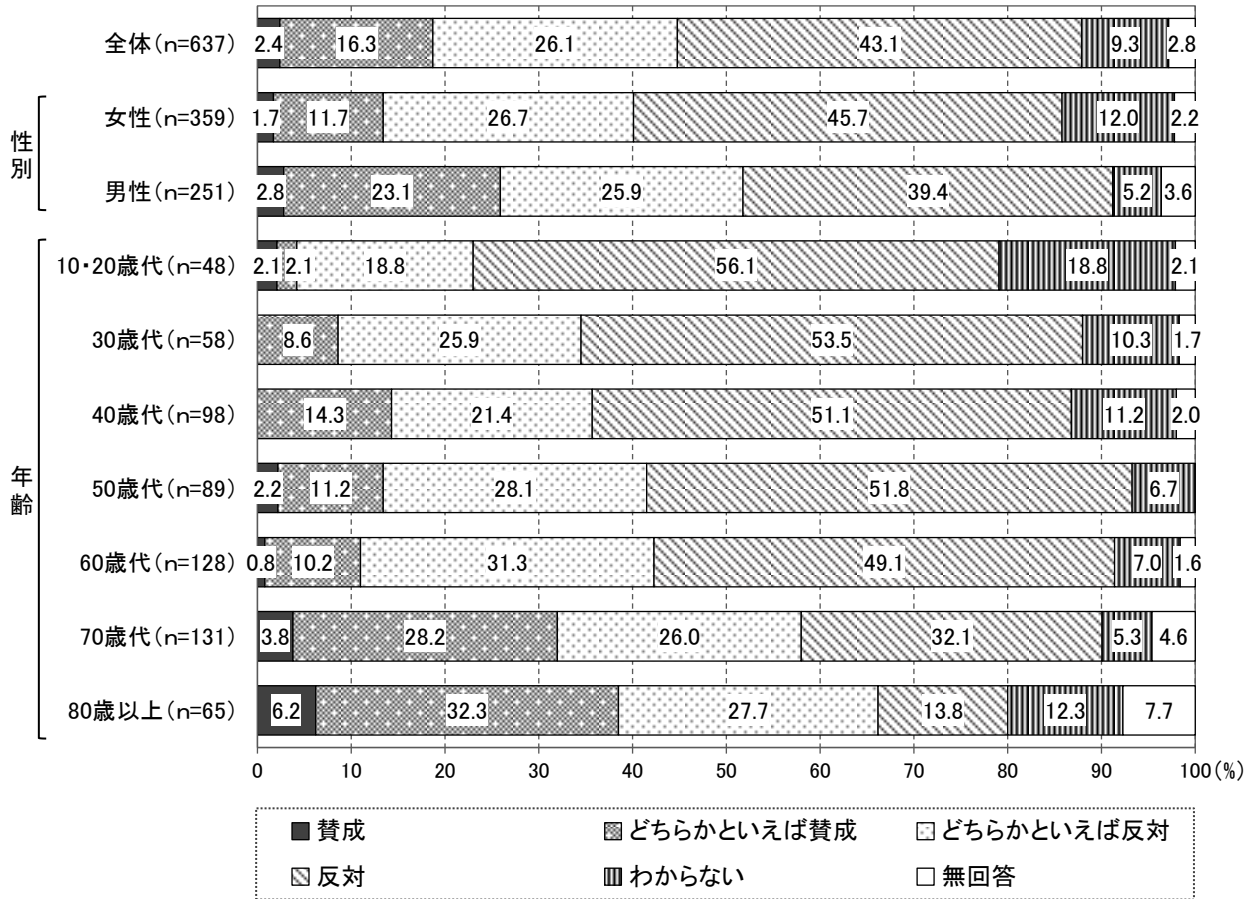
(1) 結婚は個人の自由なので、結婚してもしなくてもどちらでもよい

全体では、「賛成」が51.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(25.0%)、「どちらかといえば反対」(15.1%)の順となっています。前回調査と比べると男女ともに「賛成」と「どちらかといえば賛成」を加えた「賛成率」が高くなっています。



(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

全体では、「反対」が43.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば反対」(26.1%)、「どちらかといえば賛成」(16.3%)の順となっています。前回調査と比べると男女ともに「反対」と「どちらかといえば反対」を加えた「反対率」が高くなっています。国・県調査と比べても同じく「反対率」が高くなっています。



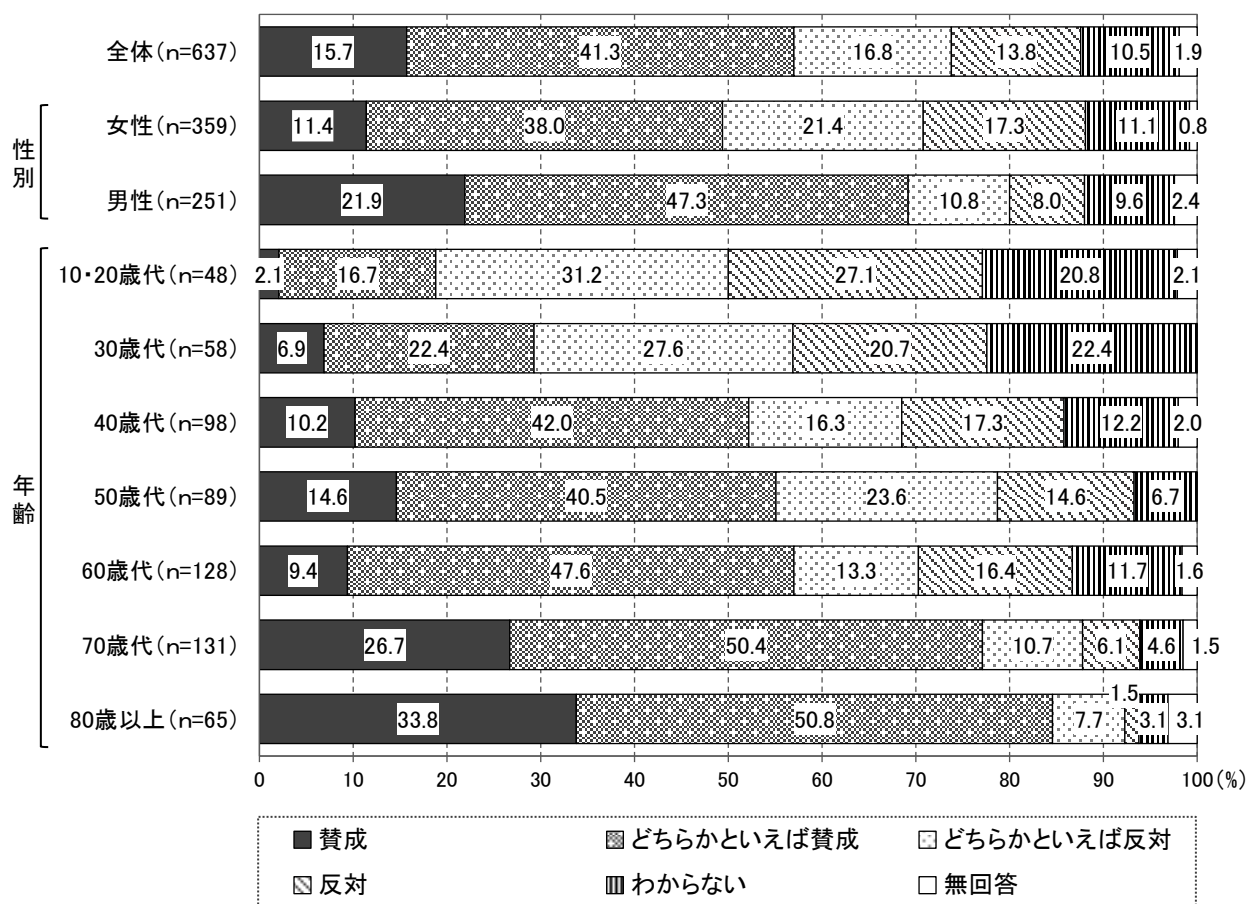
3. 教育・子育てについて

問3

子どもの育て方について、あなたの考えに近いものは何ですか。子どもがいない人も、あなたの考え方をお答えください。

(1) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる

全体では、「どちらかといえば賛成」が41.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば反対」(16.8%)、「賛成」(15.7%)の順となっています。前回調査と比べると男女とも「賛成」と「どちらかといえば賛成」を加えた「賛成率」が低くなっています。若い年代ほど「賛成率」が低くなっています。

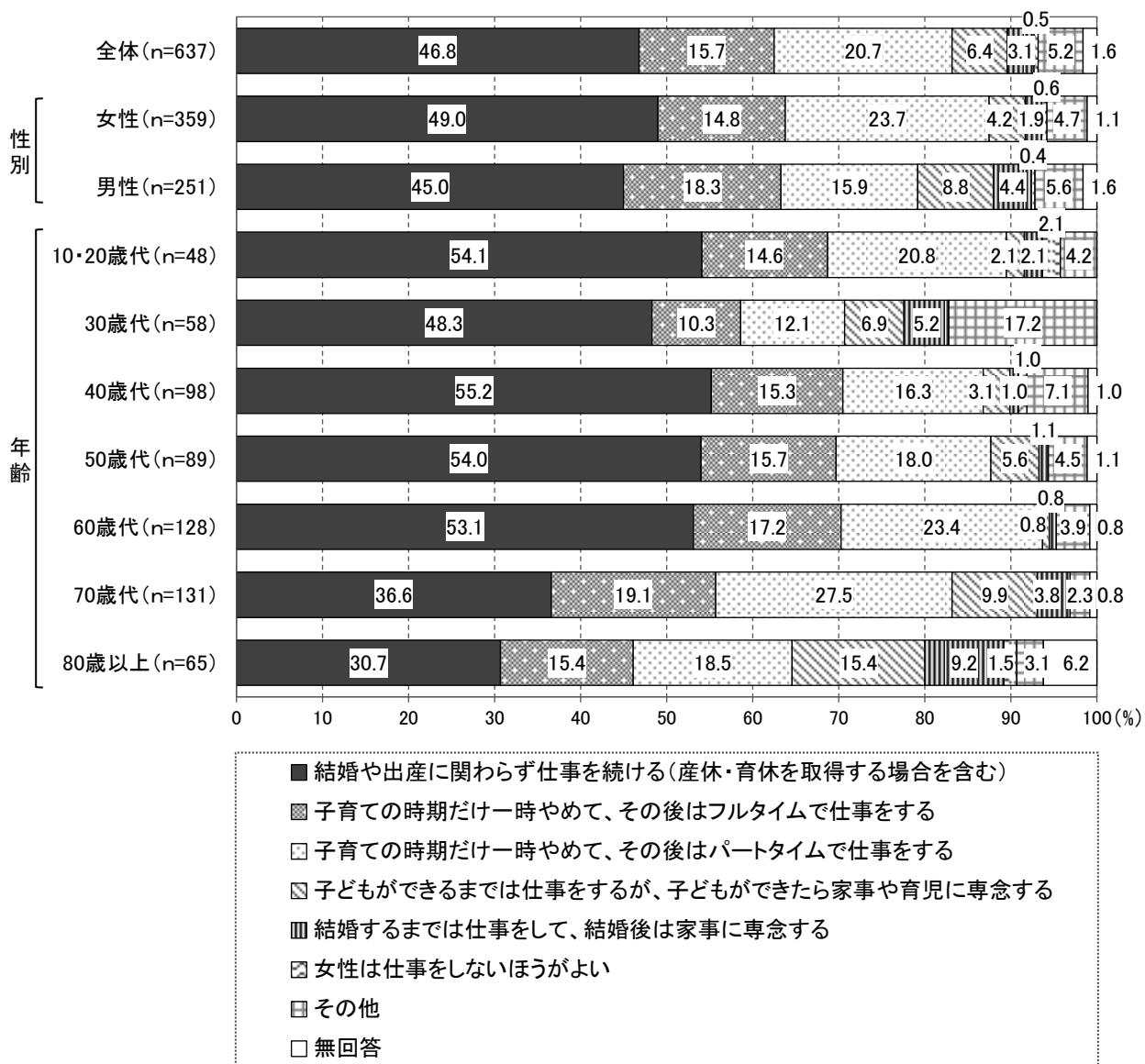


4. 仕事と生活について

問5

女性の働き方についておたずねします。あなたが、女性の働き方として「望ましい」と思うのはどれですか。

全体では、「結婚や出産に関わらず仕事を続ける（産休・育休を取得する場合を含む）」が46.8%と最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事をする」（20.7%）、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事をする」（15.7%）の順となっています。前回調査とは選択肢が異なりますが、「結婚や出産に関わらず仕事を続ける（産休・育休を取得する場合を含む）」（前は「ずっと仕事を持っているほうがよい」）の割合は男女とも大差ありません。国・県調査と比べても同じ順に高い結果となっています。

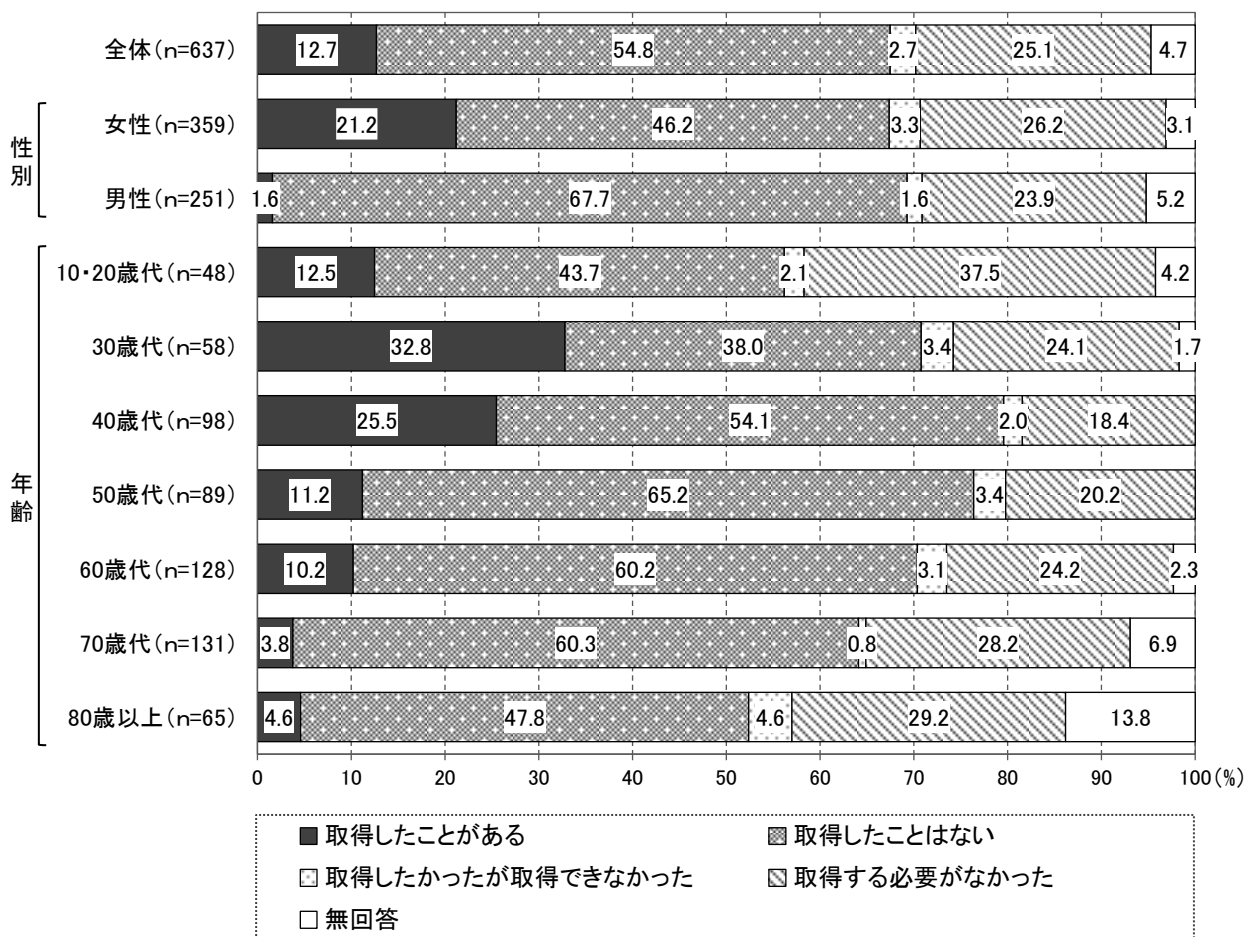


問7

あなたは、これまでに育児休業（産休を除く）や介護休業を取得したことがありますか。

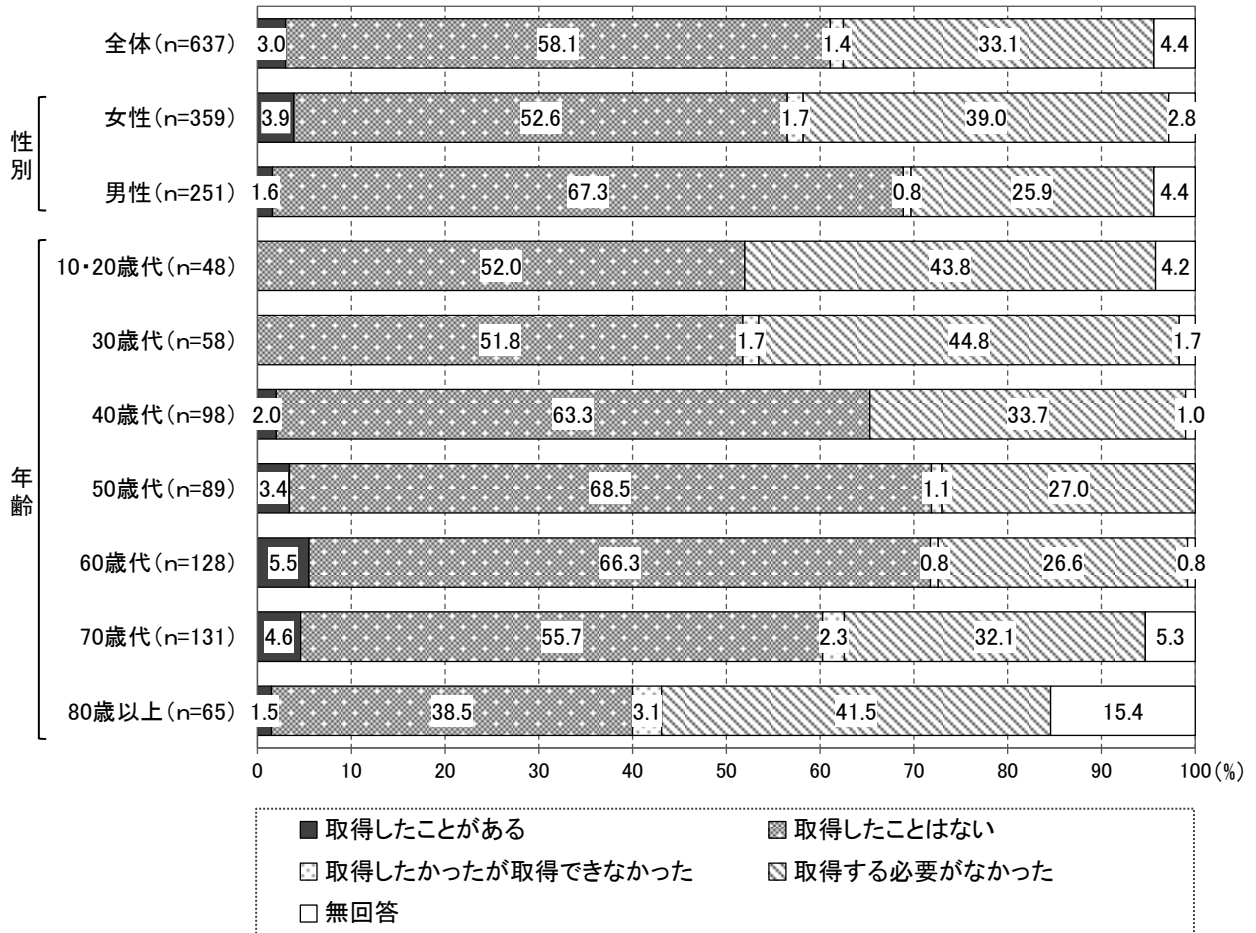
① 育児休業 ※産休を除く

全体では、「取得したことはない」が54.8%と最も高く、次いで、「取得する必要がなかった」(25.1%)、「取得したことがある」(12.7%)の順となっています。



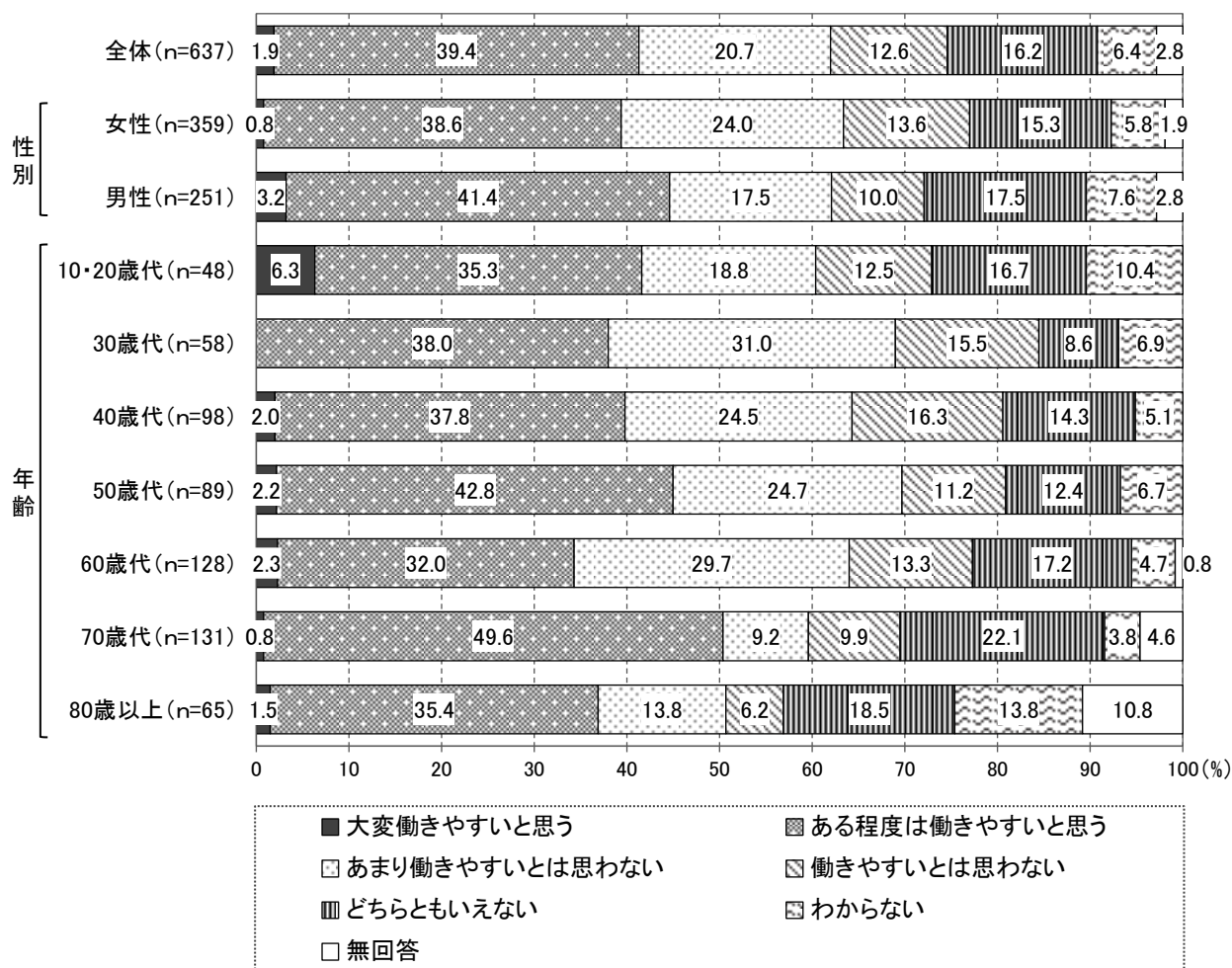
② 介護休業

全体では、「取得したことはない」が58.1%と最も高く、次いで、「取得する必要がなかった」(33.1%)、「取得したことがある」(3.0%)の順となっています。



問9 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

全体では、「ある程度は働きやすいと思う」が39.4%と最も高く、次いで、「あまり働きやすいとは思わない」(20.7%)、「どちらともいえない」(16.2%)の順となっています。

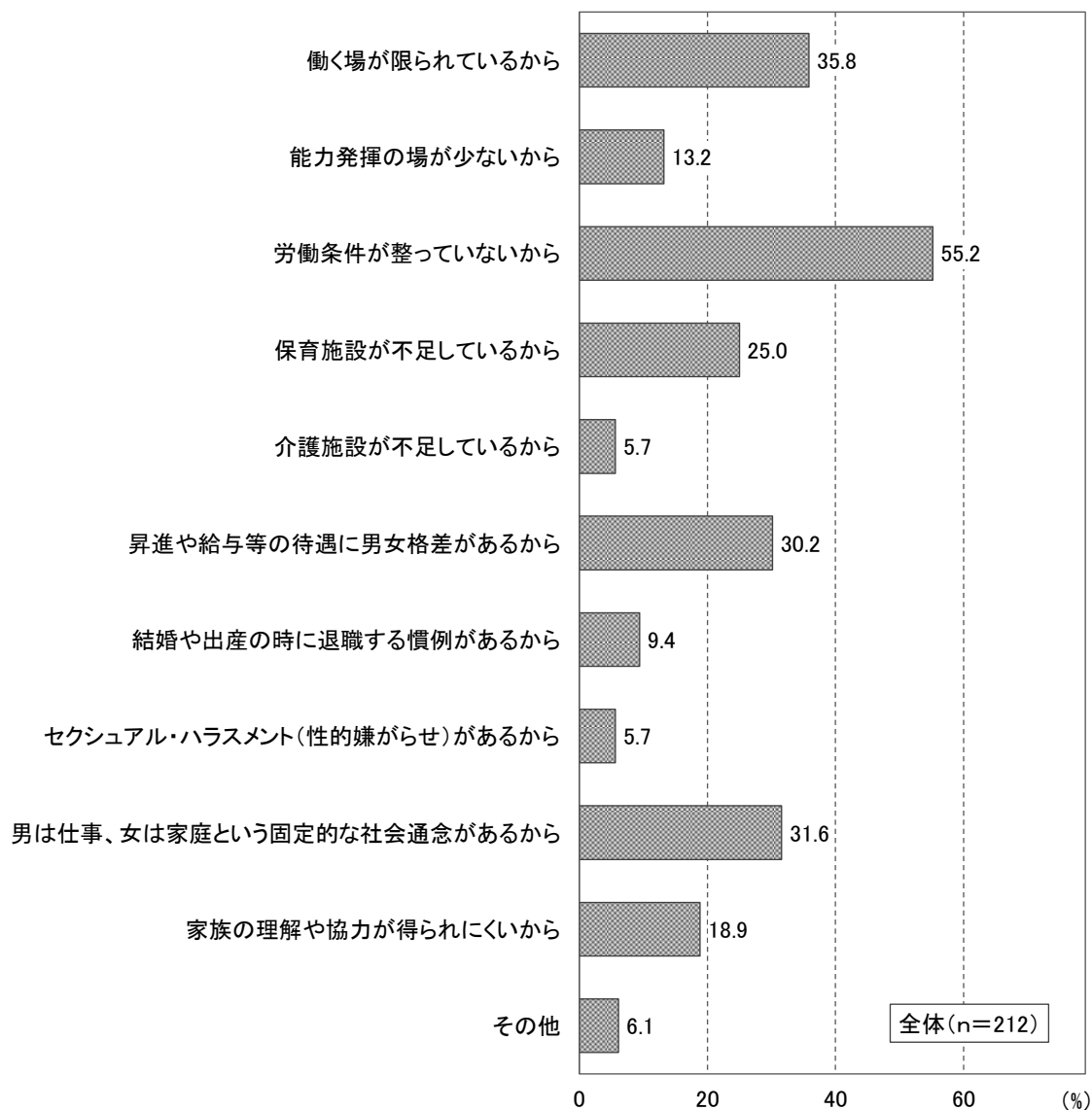


問9-1

◆問9で「3. あまり働きやすいとは思わない」または「4. 働きやすいとは思わない」と回答した方。

そう思わない理由は何ですか。【複数回答可】

「労働条件が整っていないから」が55.2%と最も高く、次いで、「働く場が限られているから」(35.8%)、「男は仕事、女は家庭という固定的な社会通念があるから」(31.6%)の順となっています。



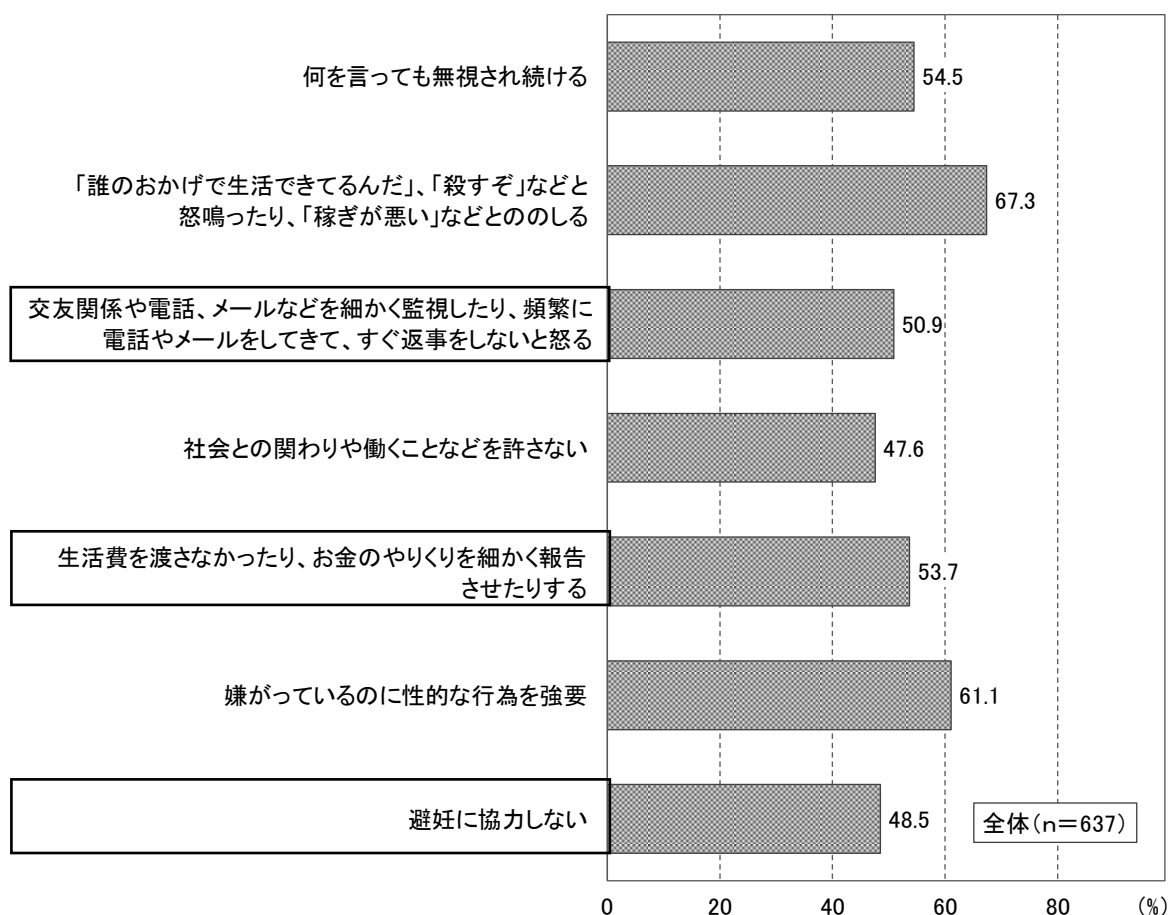
7. 人権尊重について

問 20

夫婦や恋人同士などの親しい間柄で、暴力だと感じるのは次のどのような行為ですか。【複数回答可】

成果指標

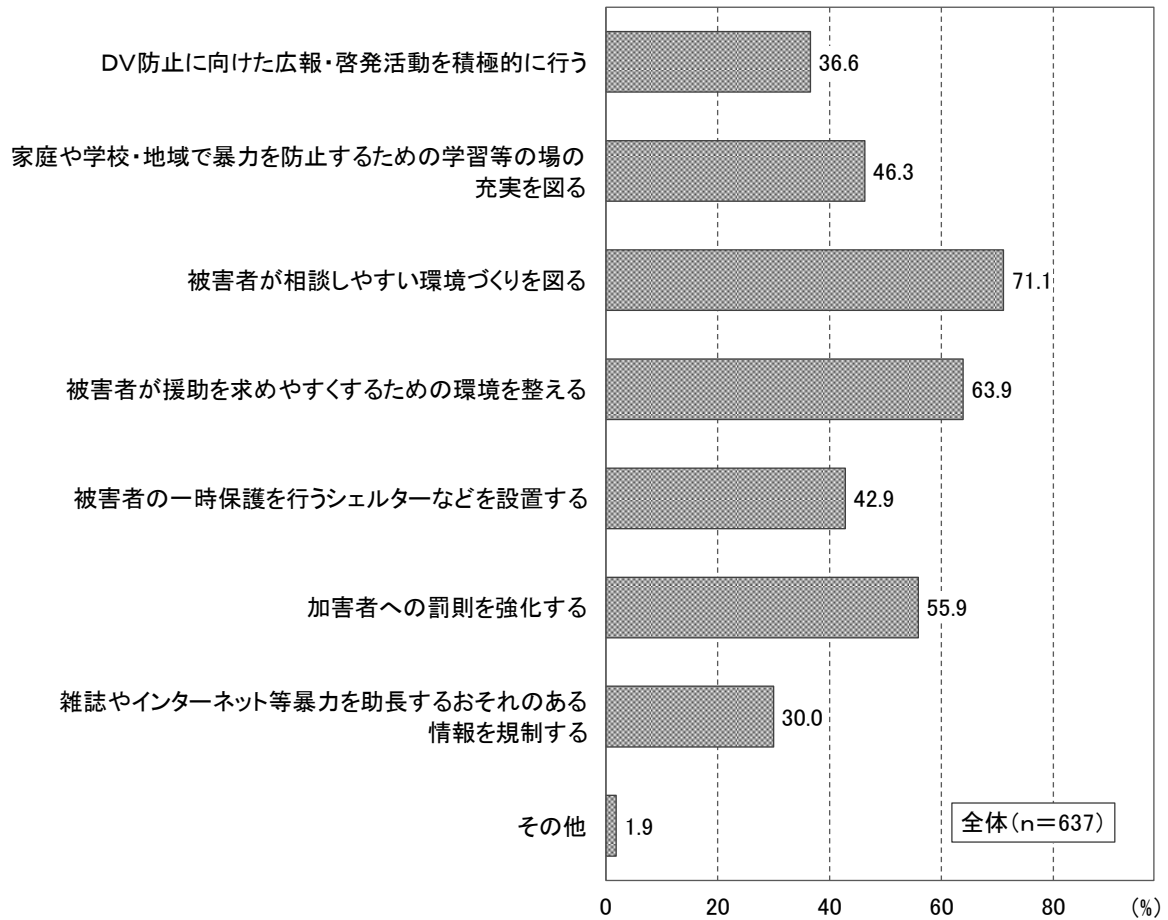
「誰のおかげで生活できてるんだ」、「殺すぞ」などと怒鳴ったり、「稼ぎが悪い」などとののしる」が67.3%と最も高く、次いで、「嫌がっているのに性的な行為を強要」(61.1%)、「何を言っても無視され続ける」(54.5%)の順となっています。現行計画における成果指標の目標値にはいずれも届いていません。



問 22

今後、ドメスティック・バイオレンス（DV）を防ぐためには、どのような取組が必要だと思いますか。【複数回答可】

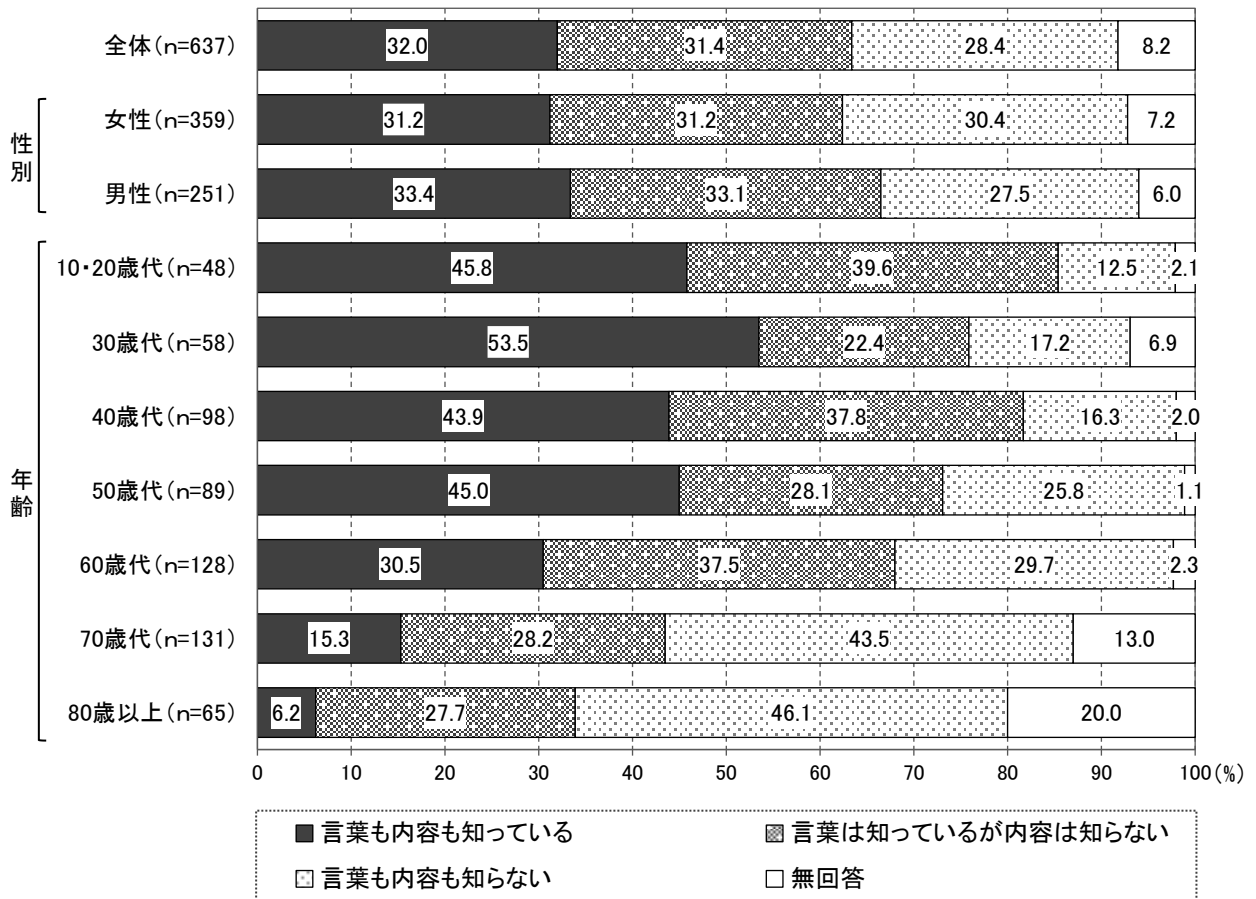
「被害者が相談しやすい環境づくりを図る」が71.1%と最も高く、次いで、「被害者が援助を求めやすくするための環境を整える」(63.9%)、「加害者への罰則を強化する」(55.9%)の順となっています。前回調査とは選択肢が異なりますが、今回は「被害者が安心して相談できる窓口を整備する」が最も高く、上記の上位2位とは内容的に同じであることから、今回の調査でも同じ傾向がみられます。



問 23

「LGBTQ^{プラス}」という言葉を知っていますか。

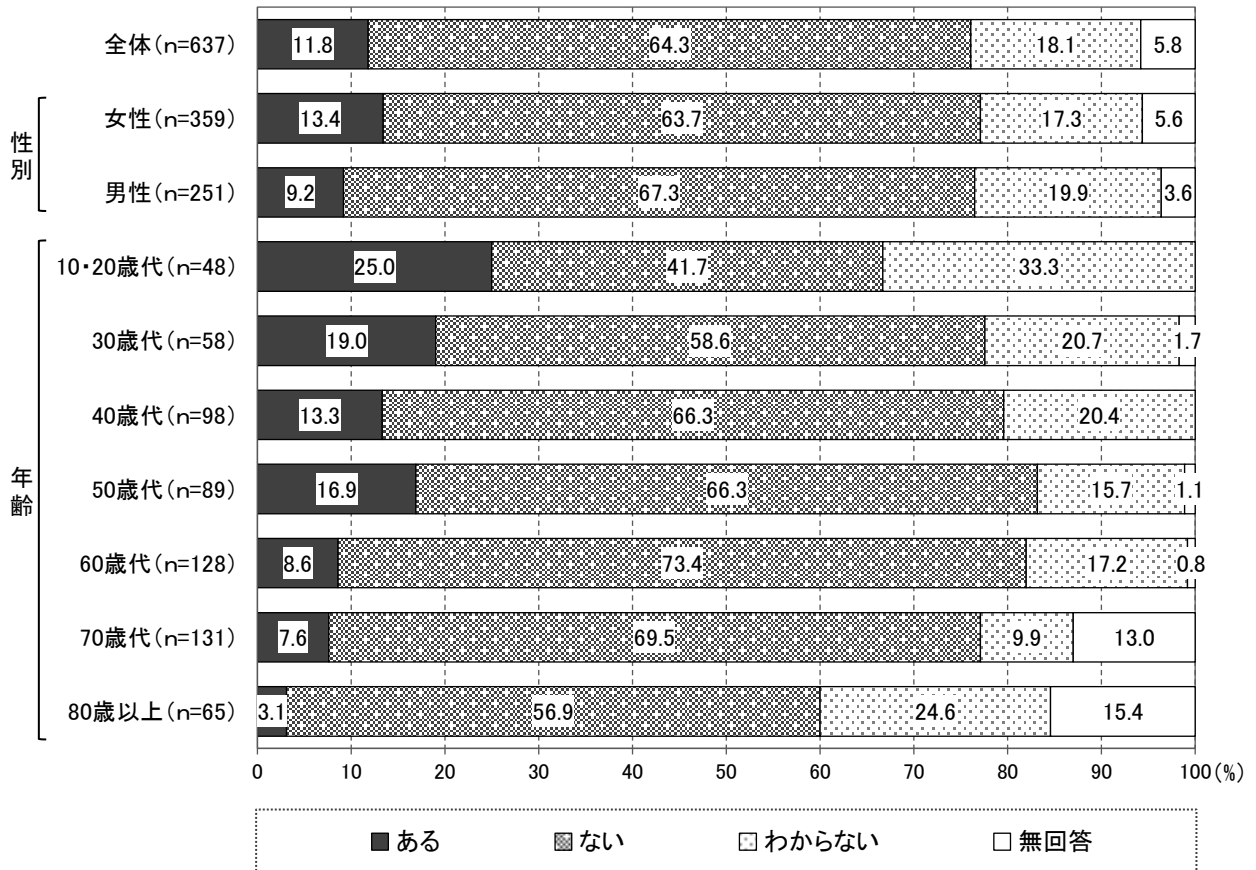
全体では、「言葉も内容も知っている」が32.0%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが内容は知らない」(31.4%)、「言葉も内容も知らない」(28.4%)の順となっています。前回調査と比較すると「言葉も内容も知っている」と「言葉は知っているが内容は知らない」を合わせた「認知度率」は男女とも低くなっています。



問 25

「LGBTQ+」に関する差別的な言動を受けたり、見聞きしたことはありますか。

全体では、「ない」が64.3%と最も高く、次いで、「わからない」(18.1%)、「ある」(11.8%)の順となっています。前回調査と比較すると「ある」の割合は、全体では大差はありませんが、女性で高く、男性で低くなっています。



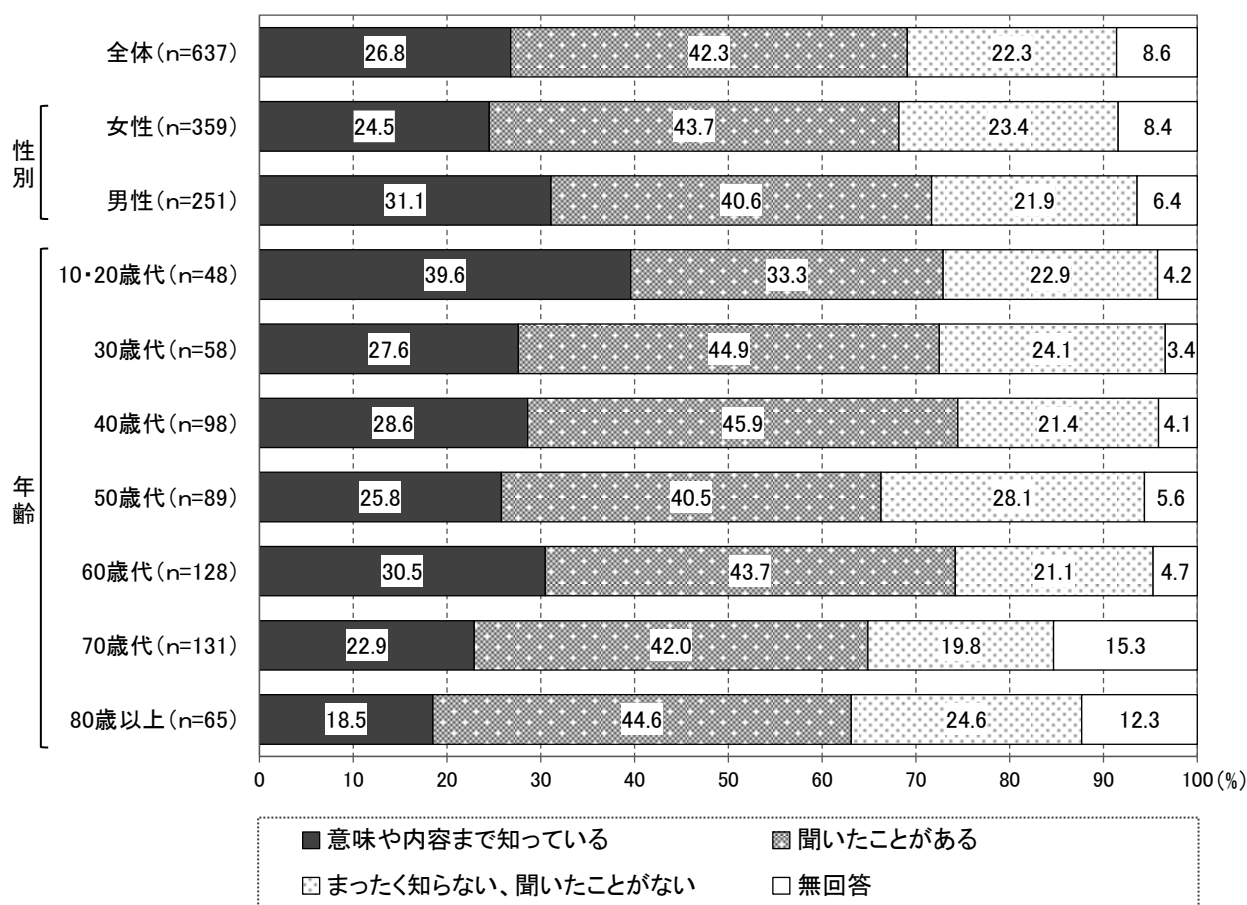
8. 男女共同参画について

問 26 あなたは次の言葉や取組をどのくらい知っていますか。

成果指標

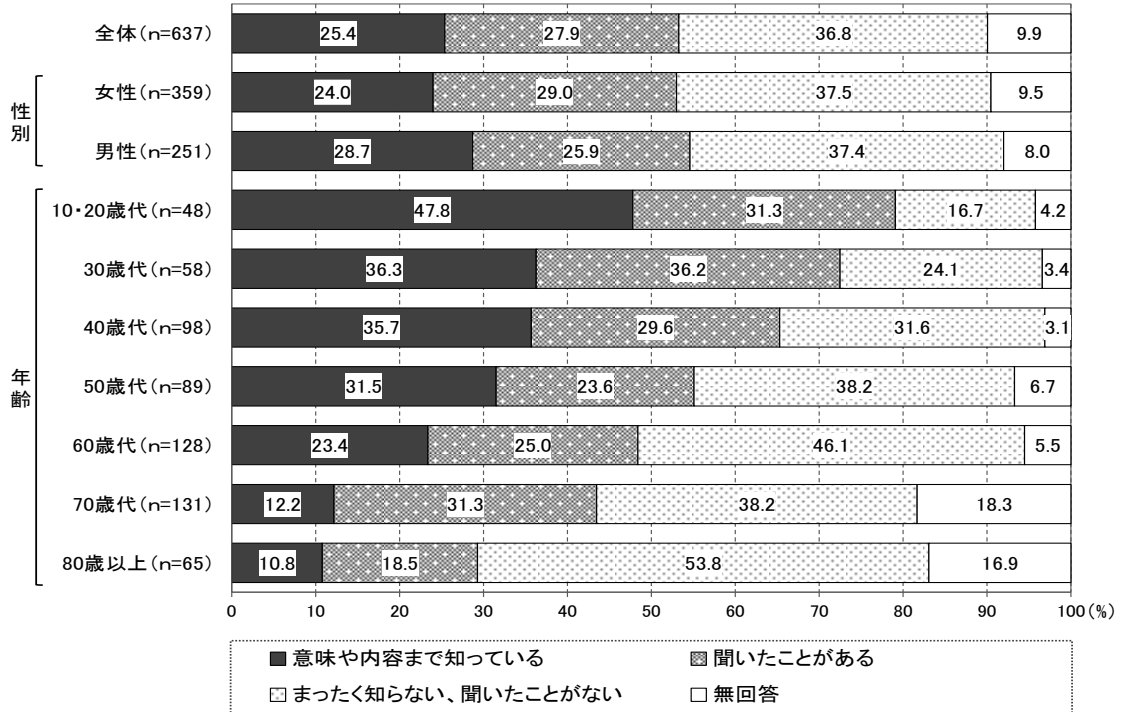
(1) 男女共同参画社会

全体では、「聞いたことがある」が42.3%と最も高く、次いで、「意味や内容まで知っている」(26.8%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(22.3%)の順となっています。前回調査と比べると、「聞いたことがある」と「意味や内容まで知っている」を合わせた「認知度率」は男女ともに低い結果となっています。



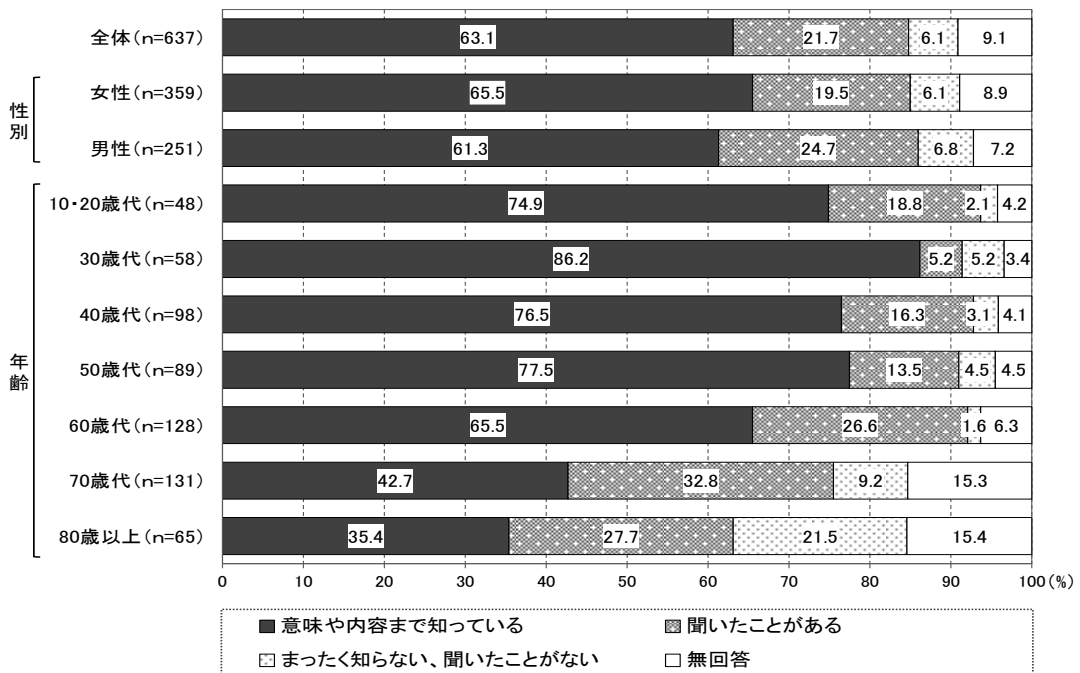
(2) ワーク・ライフ・バランス

全体では、「まったく知らない、聞いたことがない」が36.8%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(27.9%)、「意味や内容まで知っている」(25.4%)の順となっています。前回調査と比べると、「聞いたことがある」と「意味や内容まで知っている」を合わせた「認知度率」は男女ともに低い結果となっています。



(3) DV (ドメスティック・バイオレンス)

全体では、「意味や内容まで知っている」が63.1%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(21.7%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(6.1%)の順となっています。前回調査と比べると、「聞いたことがある」と「意味や内容まで知っている」を合わせた「認知度率」は男女ともに低い結果となっています。

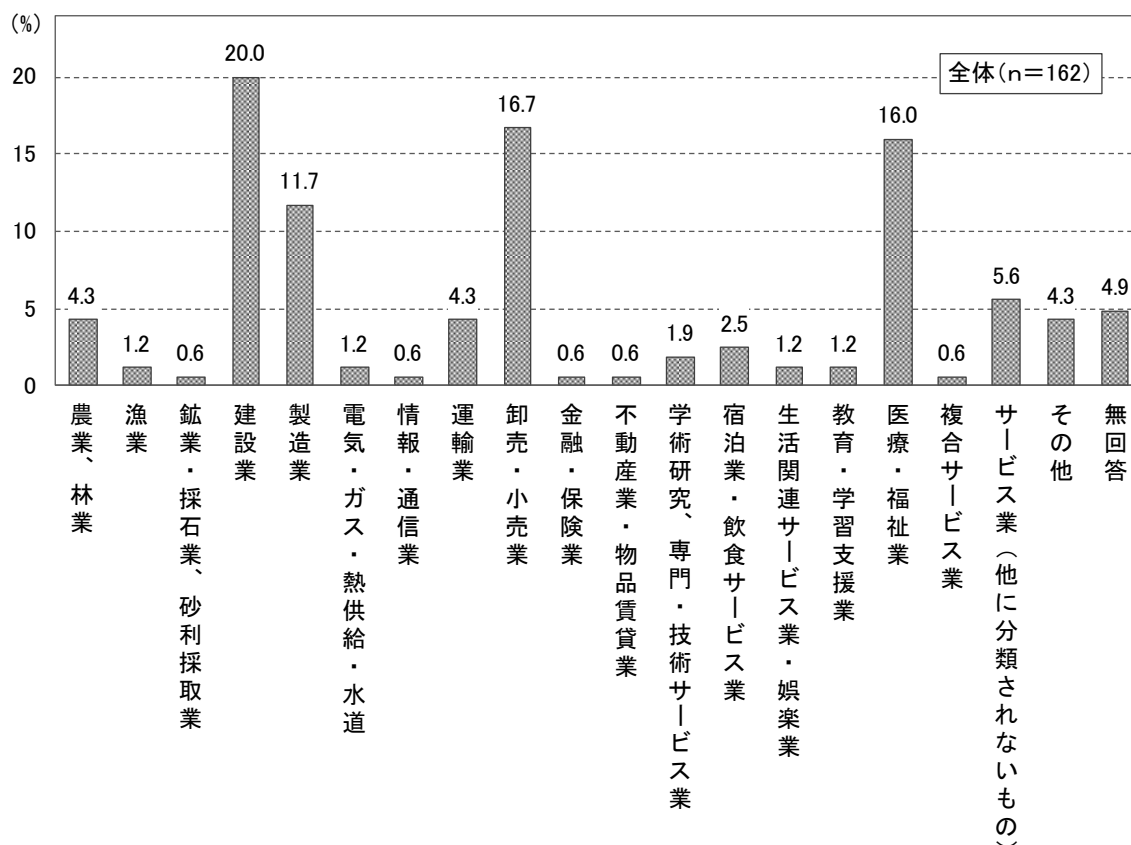


Ⅲ 企業アンケート調査結果の概要

1. 企業の属性

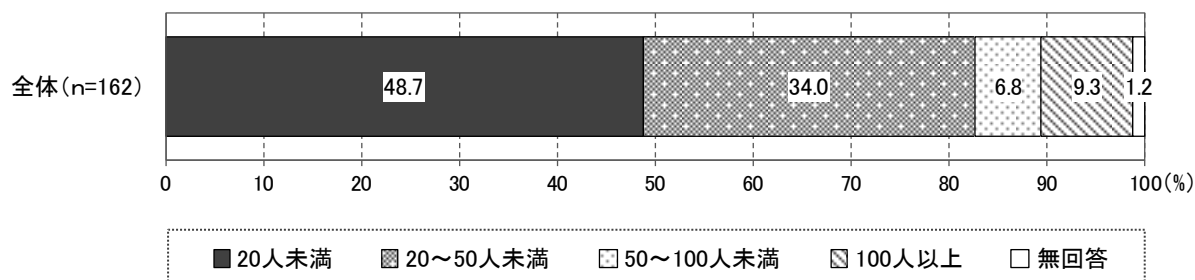
問1 業種をお答えください。

「建設業」が20.0%と最も高く、次いで、「卸売・小売業」(16.7%)、「医療・福祉業」(16.0%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



問2 従業員数をお答えください。

全体では、「20人未満」が48.7%と最も高く、次いで、「20～50人未満」(34.0%)、「100人以上」(9.3%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

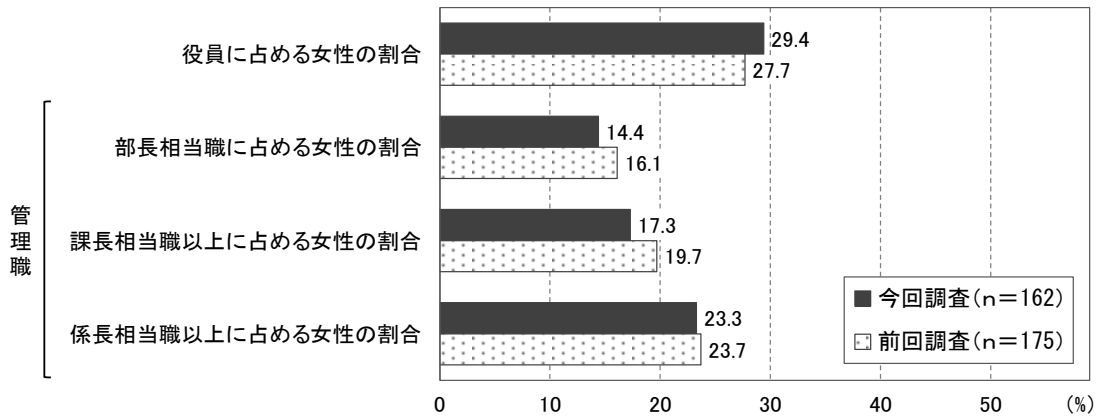


2. 女性の活躍推進について

成果指標

問4 直近の状況で把握できる貴社の女性管理職等登用は、何人ですか。

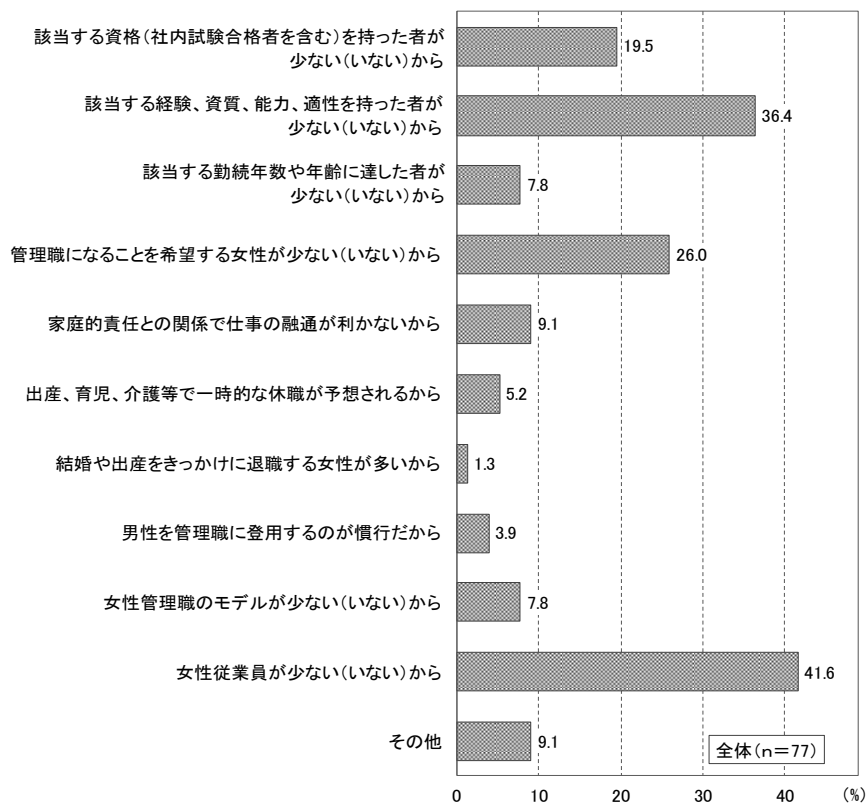
「役員に占める女性の割合」は、29.4%となっています。また、管理職では、「係長相当職に占める女性の割合」が30.5%と最も高く、次いで、「課長相当職に占める女性の割合」(19.3%)、「部長相当職に占める女性の割合」(14.4%)の順となっています。「課長相当職以上に占める女性の割合」になると17.3%で、前回調査と比べるとわずかながら低くなっています。



問5-1

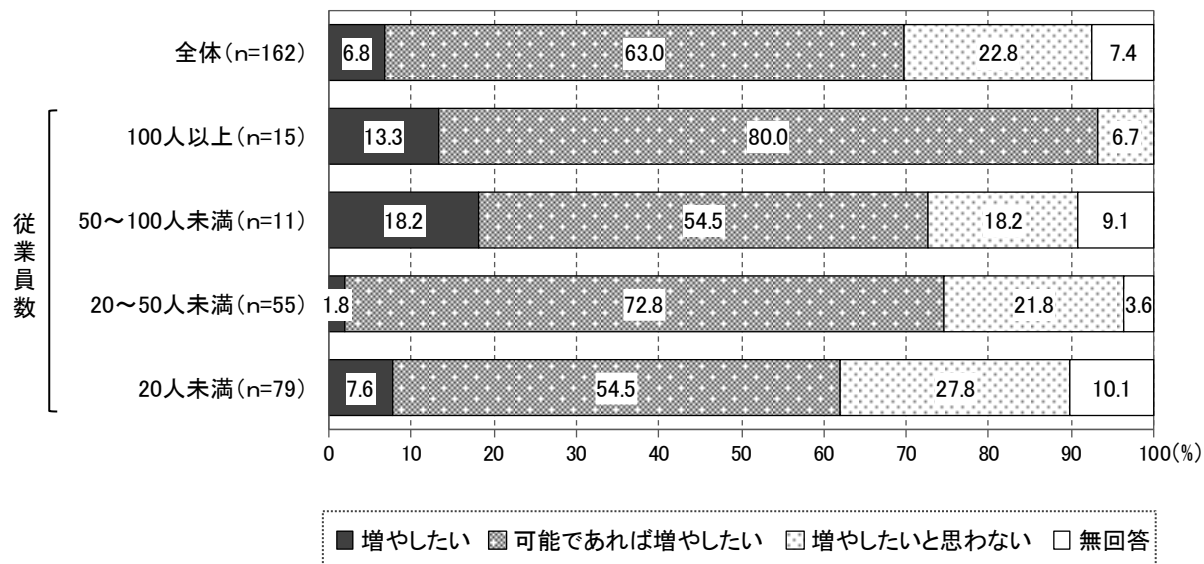
◆問5で、女性管理職が「10%未満」だった方。
女性管理職が少ない理由は何ですか。【複数回答可】

「女性従業員が少ない(いない)から」が41.6%と最も高く、次いで、「該当する経験、資質、能力、適性を持った者が少ない(いない)から」(36.4%)、「管理職になることを希望する女性が少ない(いない)から」(26.0%)の順となっています。前回調査と比べると、「管理職になることを希望する女性が少ない(いない)から」の割合が高くなっています。



問6 今後、女性管理職を増やしたいと思いますか。

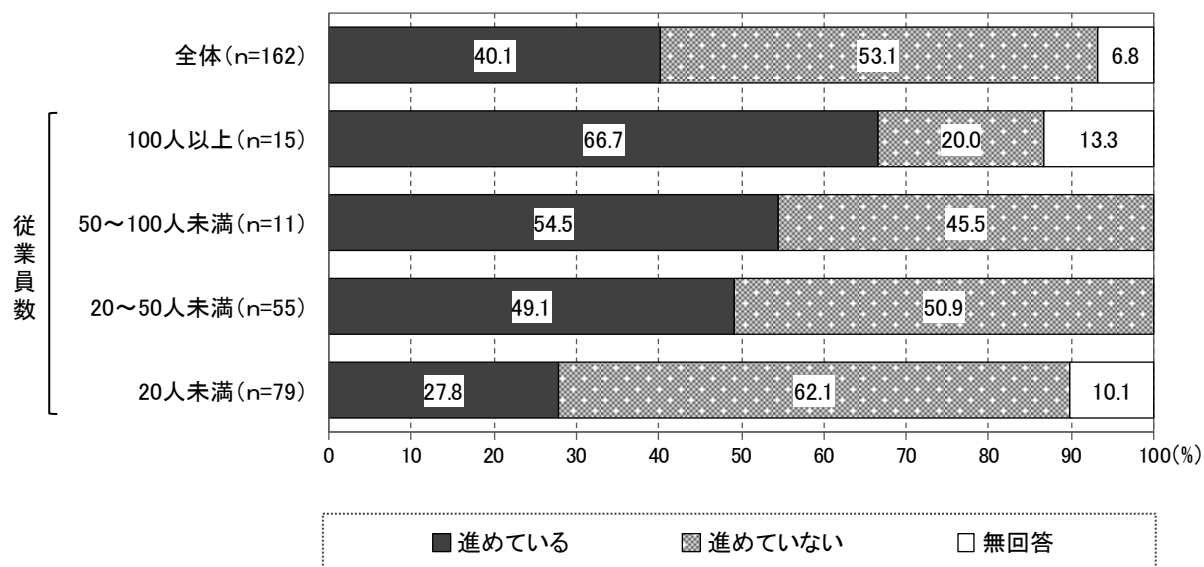
全体では、「可能であれば増やしたい」が63.0%と最も高く、次いで、「増やしたいと思わない」(22.8%)、「増やしたい」(6.8%)の順となっています。前回調査と大差はありませんが、「増やしたい」の割合は高くなっています。



問7 貴社では女性活躍推進への取組を進めていますか。

成果指標

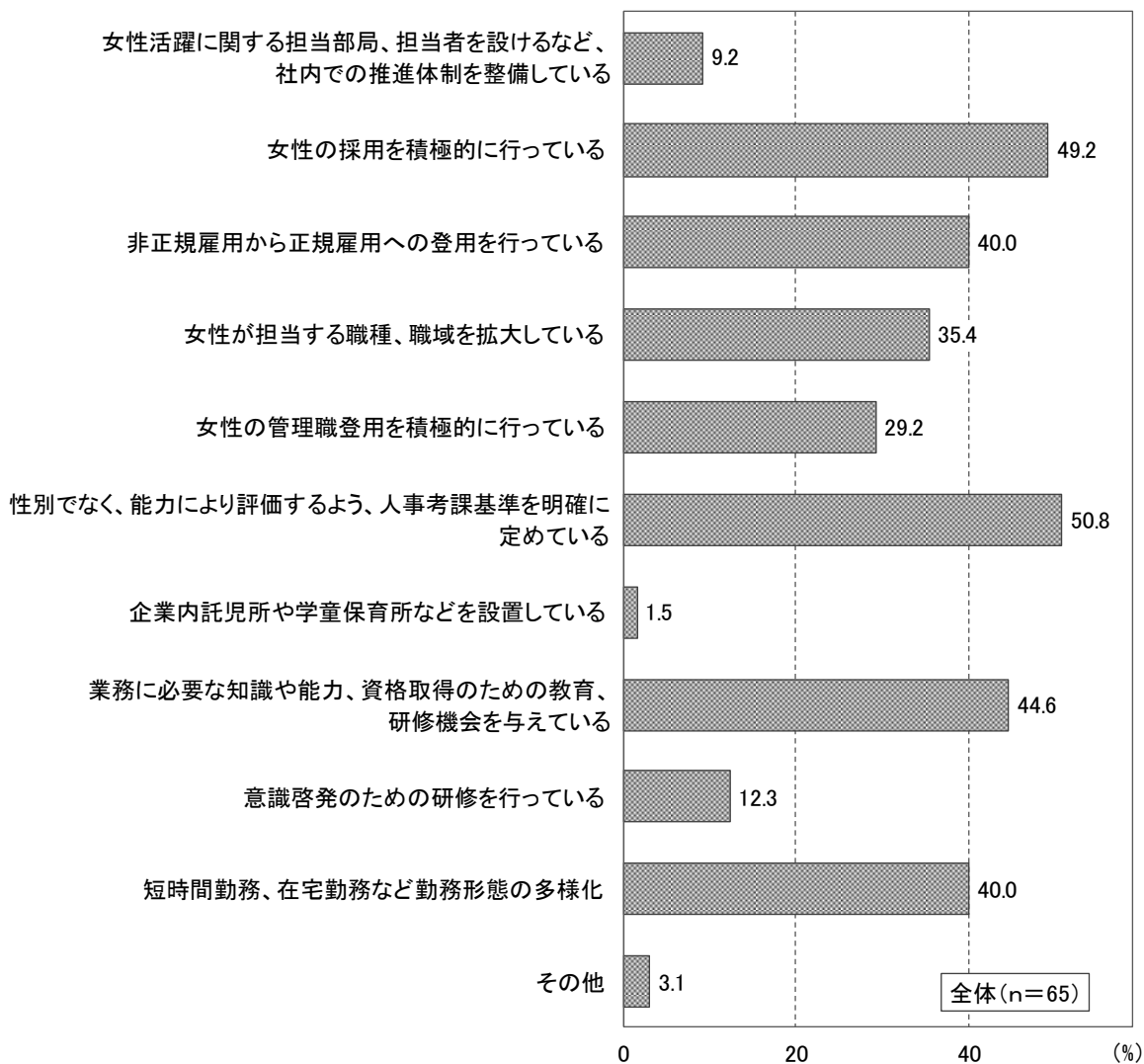
全体では、「進めていない」が53.1%と高く、「進めている」が40.1%となっています。前回調査と大差はありませんが、「進めている」の割合が低くなっています。



問 7-1

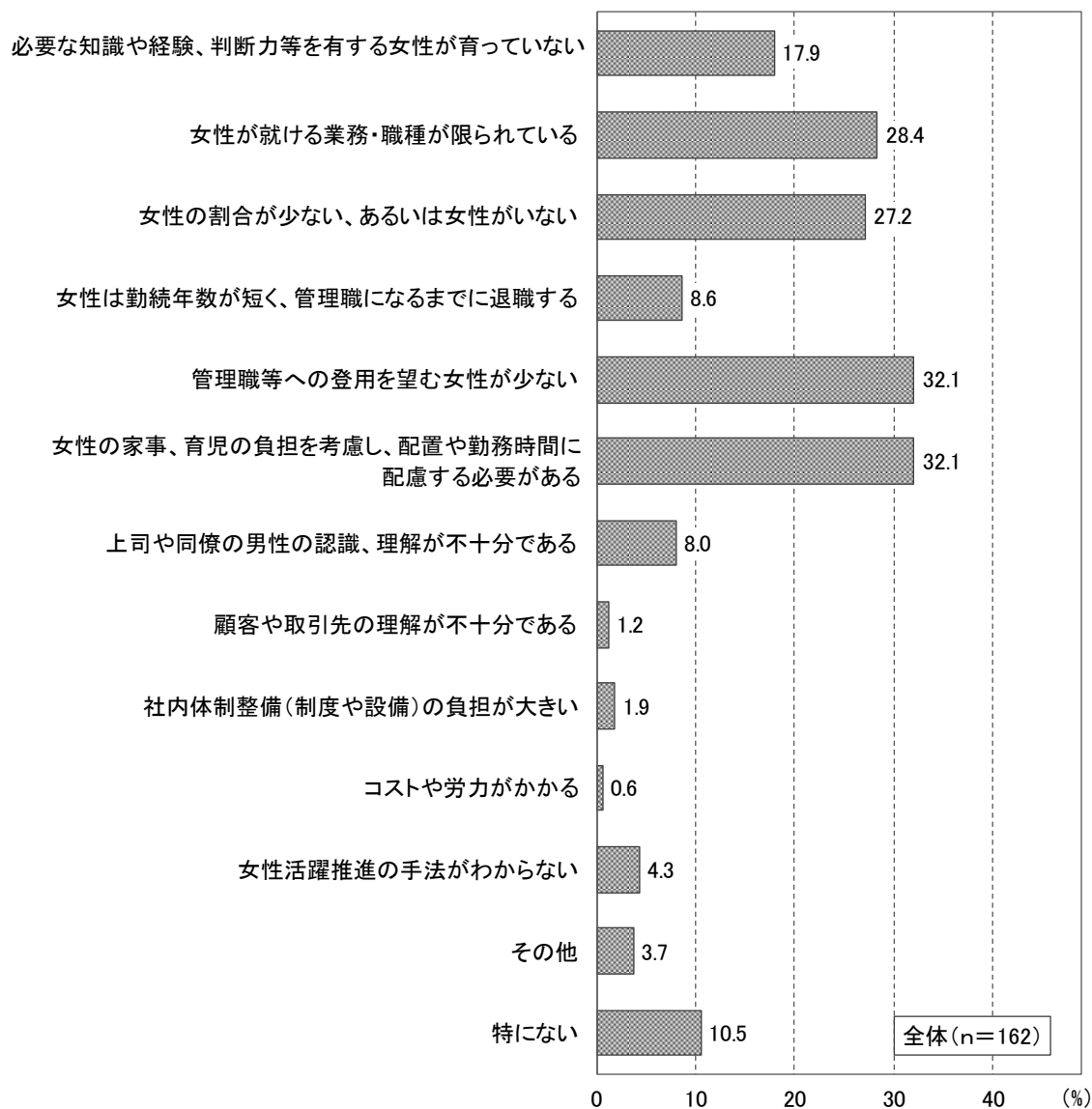
◆問7で、「1. 進めている」と回答した方。
 貴社では女性活躍推進としてどのような取組をしていますか。【複数回答可】

「性別でなく、能力により評価するよう、人事考課基準を明確に定めている」が 50.8%と最も高く、次いで、「女性の採用を積極的に行っている」(49.2%)、「業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育、研修機会を与えている」(44.6%) の順となっています。前回調査と比べると、「性別でなく、能力により評価するよう、人事考課基準を明確に定めている」の割合が高くなっています。



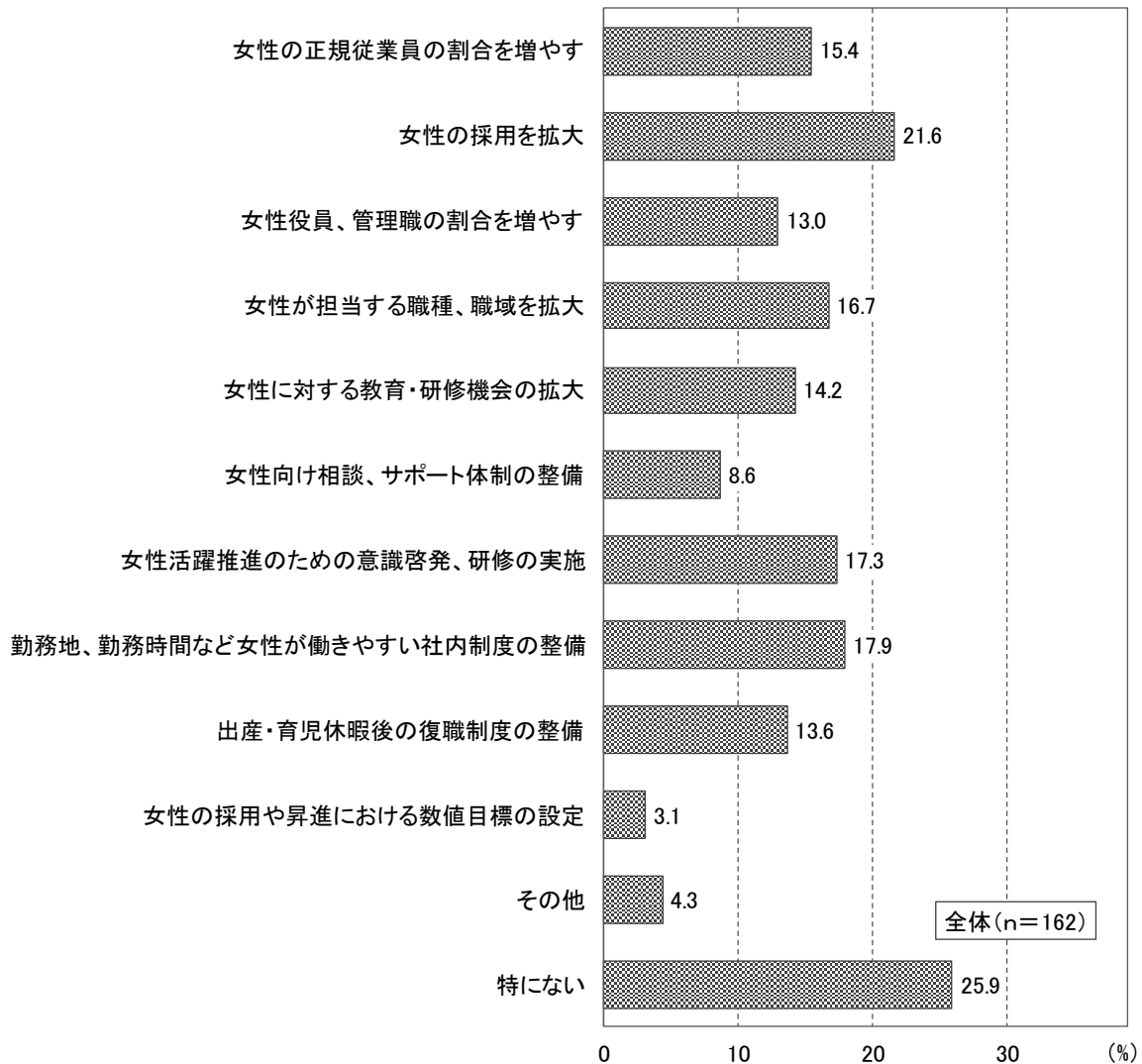
問8 女性活躍推進にあたり、どのような課題があると思いますか。【複数回答可】

「管理職等への登用を望む女性が少ない」・「女性の家事、育児の負担を考慮し、配置や勤務時間に配慮する必要がある」が 32.1%と同率で最も高く、次いで、「女性が就ける業務・職種が限られている」(28.4%)、「女性の割合が少ない、あるいは女性がいない」(27.2%)の順となっています。前回調査と比べると、「管理職等への登用を望む女性が少ない」の割合が高くなっています。



問9 女性活躍推進に関し、貴社の今後の取組方針は何ですか。【複数回答可】

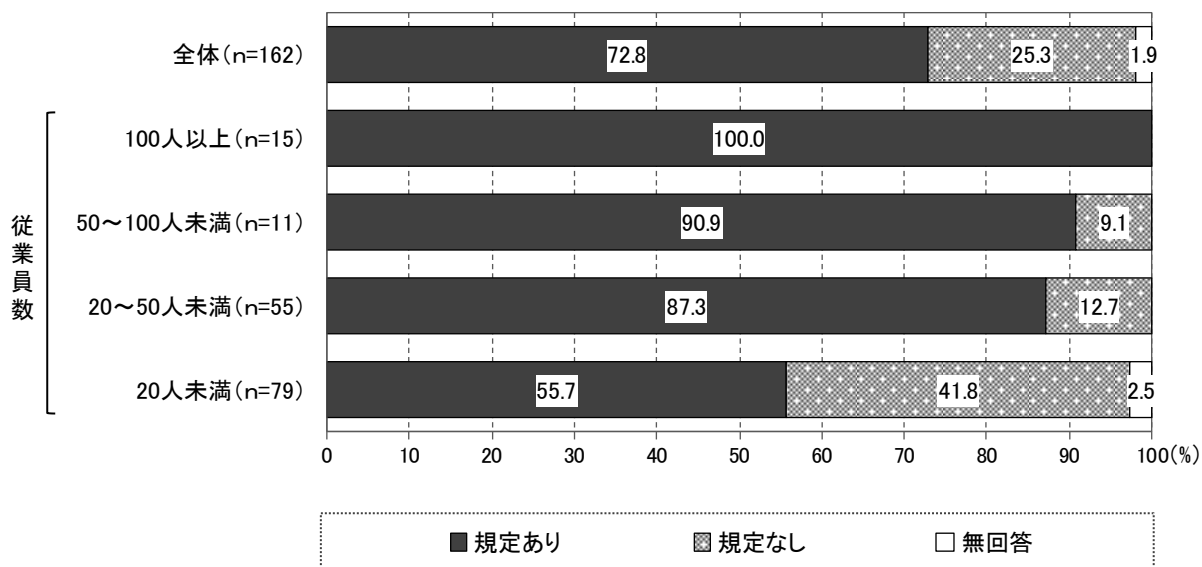
「特にない」が25.9%と割合が高くなっていますが、具体的な取組方針で見ると、「女性の採用を拡大」が21.6%と最も高く、次いで、「勤務地、勤務時間など女性が働きやすい社内制度の整備」(17.9%)、「女性活躍推進のための意識啓発、研修の実施」(17.3%)の順となっています。前回調査と比較すると、「女性の採用を拡大」の割合が高くなっています。



4. 育児・介護との両立支援について

問 11 貴社では育児休業制度の規定はありますか。

全体では、「規定あり」が72.8%と高く、「規定なし」が25.3%となっています。前回調査と大差はありません。

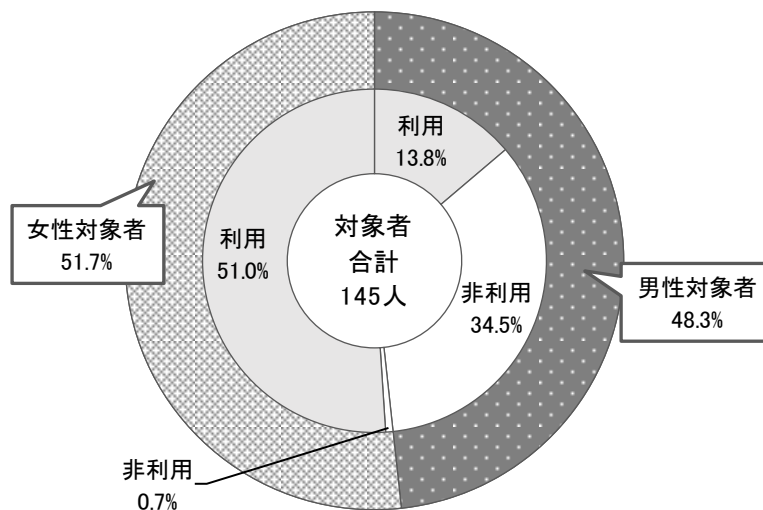


問11-3

◆問 11 で、「1. 規定あり」と回答した方。

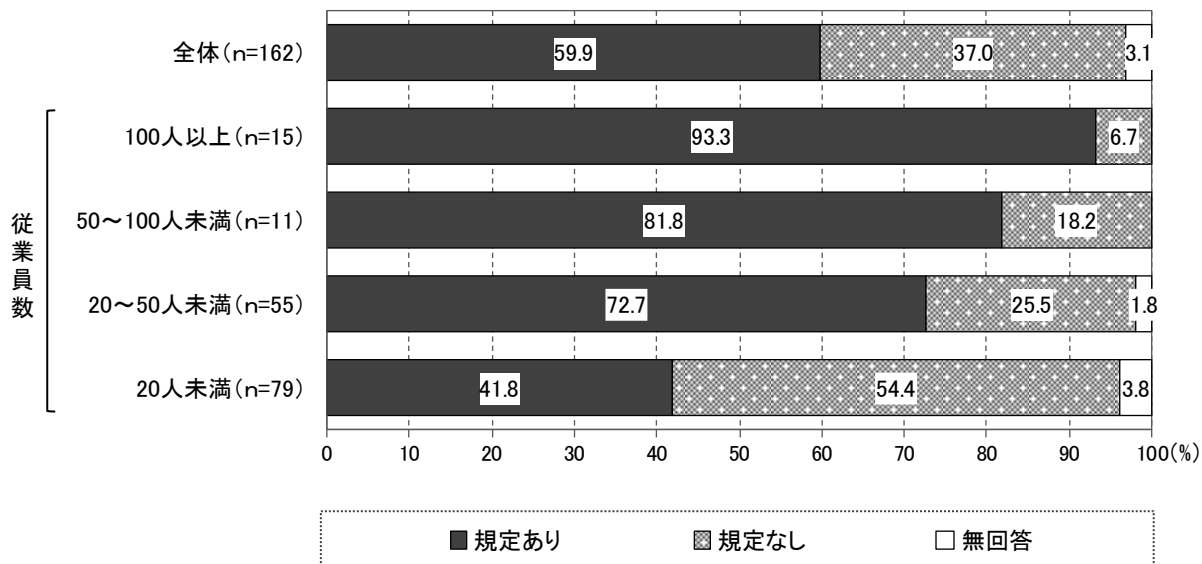
直近の事業年度（または把握できる直近の1年間）で、育児休業制度を利用した従業員は何人でしたか。

「男性の利用者」(13.8%)と「女性の利用者」(51.0%)を合わせた“育児休業利用者”が64.8%、「男性の非利用者」(34.5%)と「女性の非利用者」(0.7%)を合わせた“育児休業非利用者”が35.2%となっています。前回調査と比較すると、男女ともに利用率は高くなっています。



問 12 貴社では介護休業制度の規定はありますか。

全体では、「規定あり」が59.9%と高く、「規定なし」が37.0%となっています。前回調査と大差はありません。

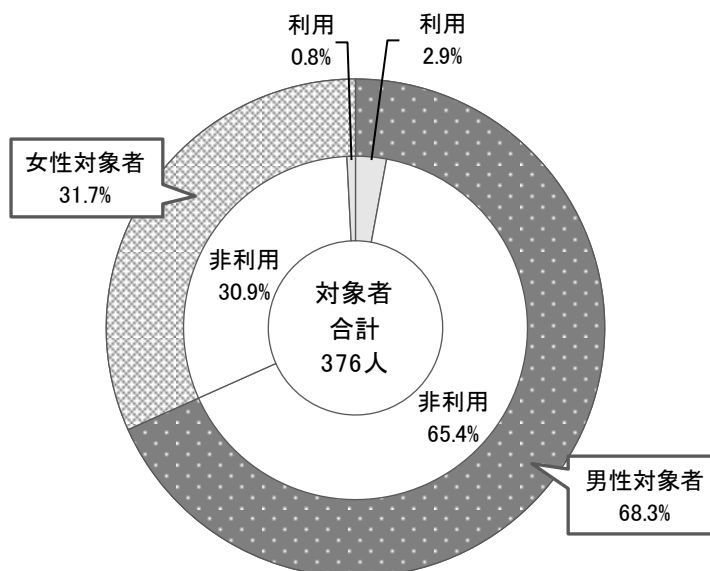


問12-2

◆問 12 で、「1. 規定あり」と回答した方。

直近の事業年度（または把握できる直近の1年間）で、介護休業制度を利用した従業員は何人でしたか。

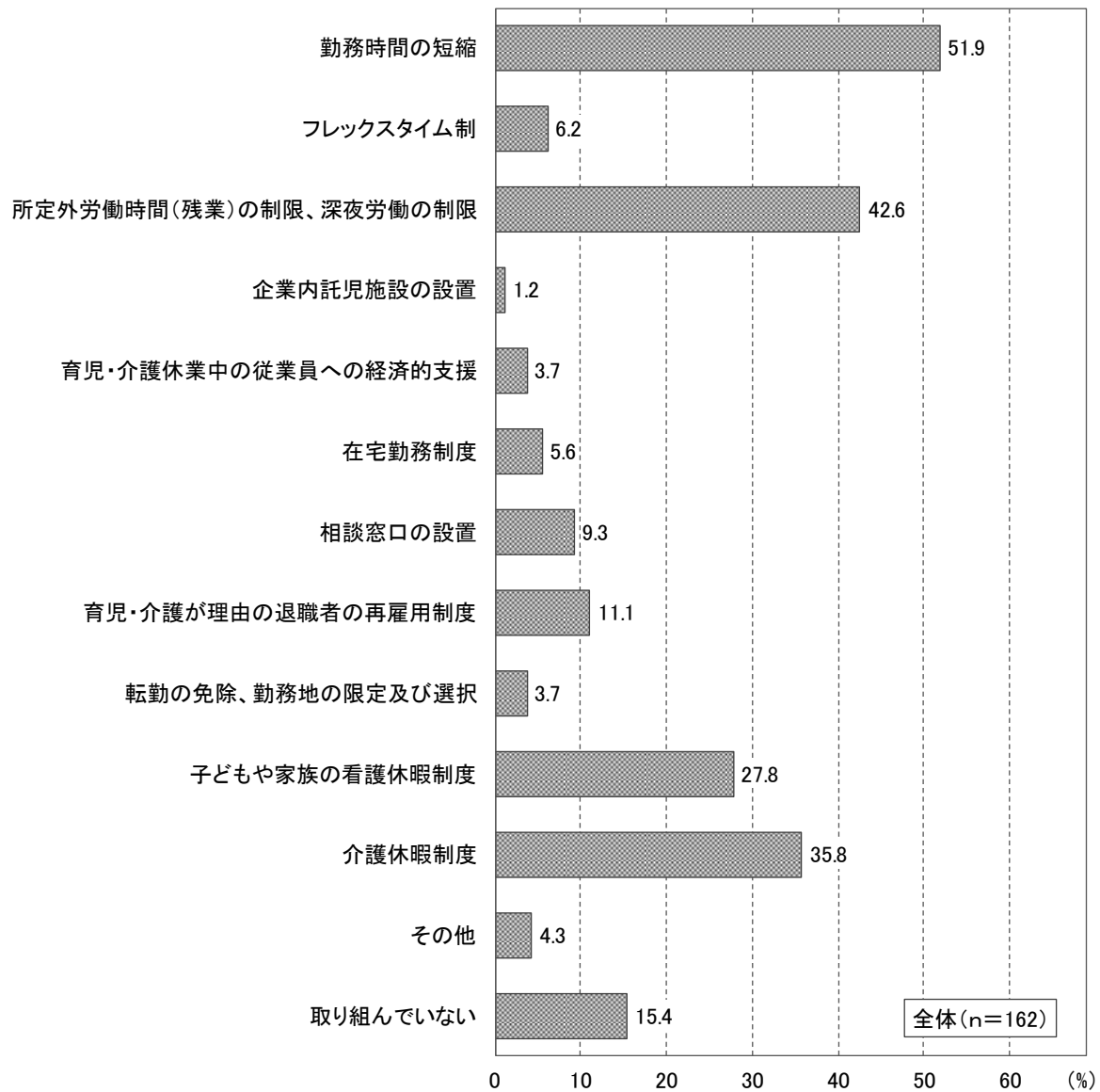
「男性の利用者」(2.9%)と「女性の利用者」(0.8%)を合わせた“介護休業利用者”が3.7%、「男性の非利用者」(65.4%)と「女性の非利用者」(30.9%)を合わせた“介護休業非利用者”が96.3%となっています。前回調査と比較すると、利用率はわずかながら女性では低く、男性では高くなっています。



問 13

貴社では、働きながら育児・介護を行う従業員のために、次のような取組
がありますか。【複数回答可】

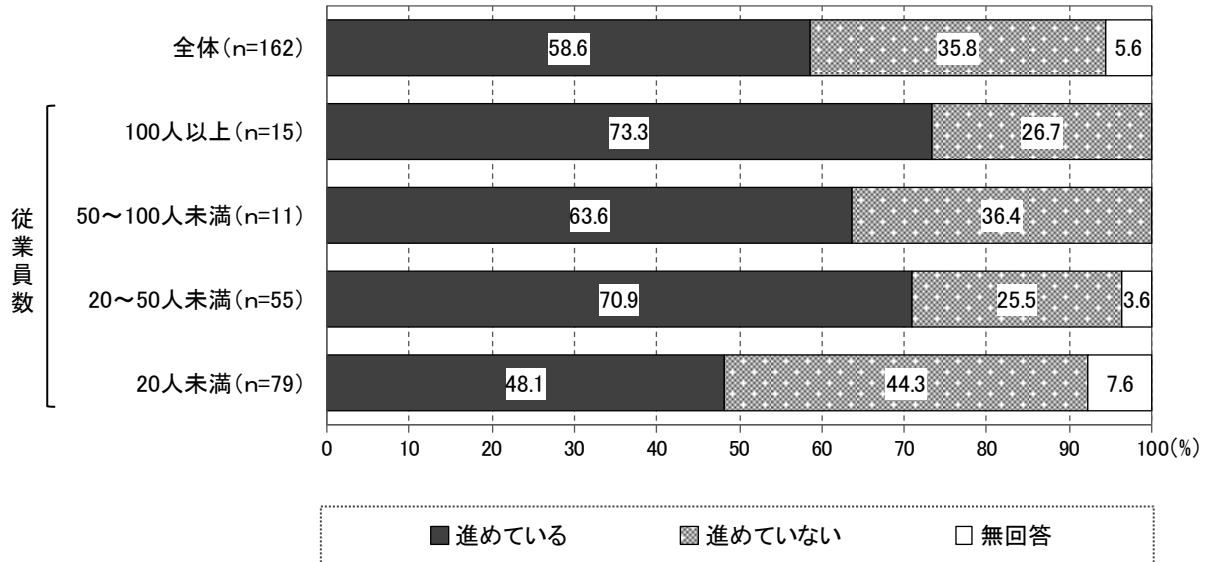
「勤務時間の短縮」が51.9%と最も高く、次いで、「所定外労働時間（残業）の制限、深夜労働の制限」（42.6%）、「介護休暇制度」（35.8%）の順となっています。前回調査と比較すると、「取り組んでいない」の割合が低くなっています。



5. ワーク・ライフ・バランスについて

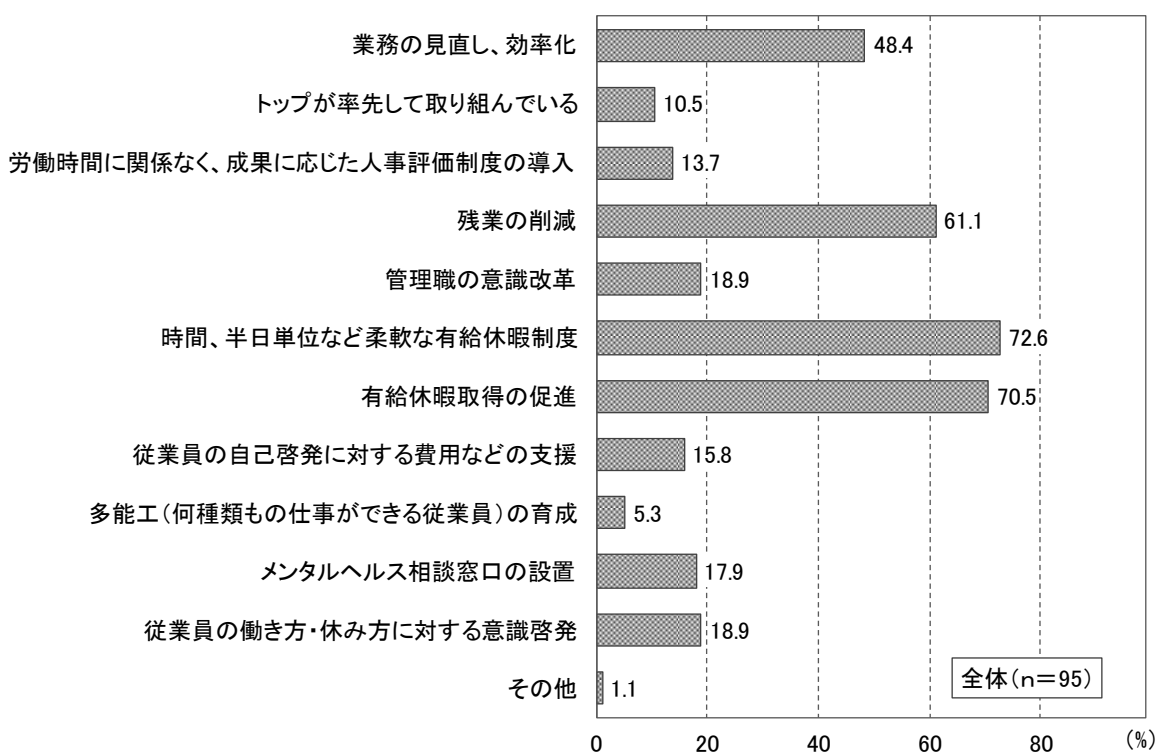
問 15 貴社ではワーク・ライフ・バランスを推進する取組を進めていますか。

全体では、「進めている」が58.6%と高く、「進めていない」が35.8%となっています。前回調査と比較すると、「進めている」の割合がわずかながら高くなっています。



問15-1 ◆問15で、「1. 進めている」と回答した方。ワーク・ライフ・バランスを推進するために、どのような取組をしていますか。【複数回答可】

「時間、半日単位など柔軟な有給休暇制度」が72.6%と最も高く、次いで、「有給休暇取得の促進」(70.5%)、「残業の削減」(61.1%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

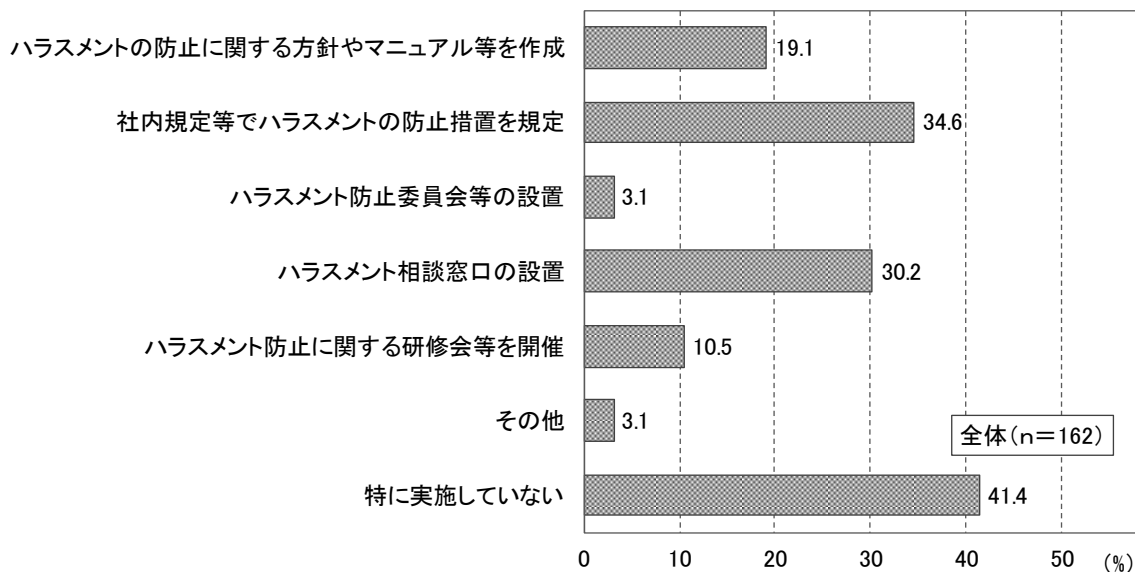


6. ハラスメントについて

問 16

貴社では「セクシュアル・ハラスメント」、「パワー・ハラスメント」、「マタニティ・ハラスメント」などの各種ハラスメントに対して、どのような対策を実施していますか。【複数回答可】

「特に実施していない」が41.4%と割合が高くなっていますが、具体的な対策で見ると、「社内規定等でハラスメントの防止措置を規定」が34.6%と最も高く、次いで、「ハラスメント相談窓口の設置」(30.2%)、「ハラスメントの防止に関する方針やマニュアル等を作成」(19.1%)の順となっています。前回調査と比較すると、「特に実施していない」の割合が低くなっています。

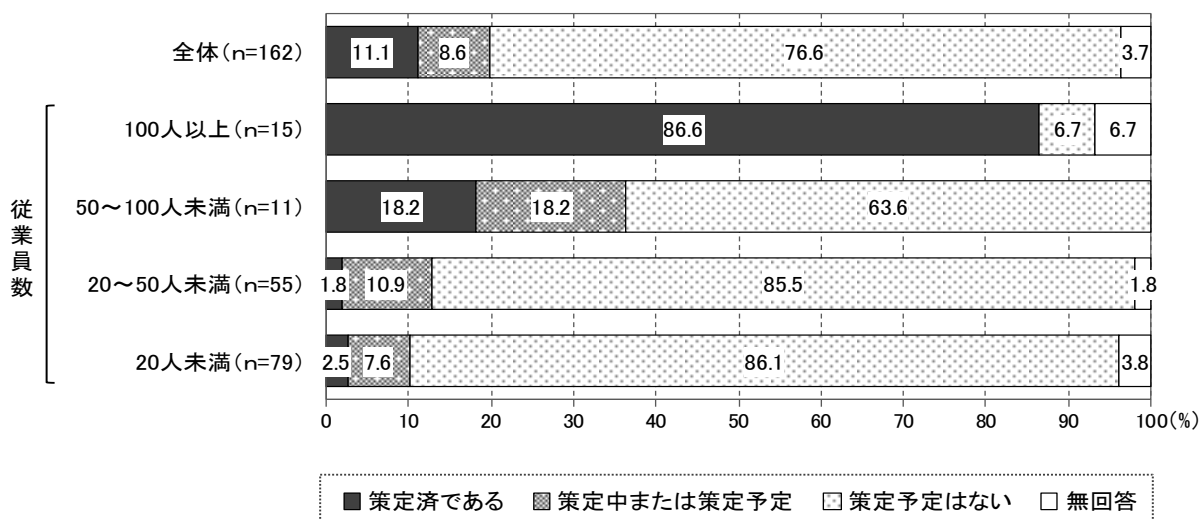


7. 次世代育成法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画について

問 18

貴社では、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく「一般事業主行動計画」を策定されていますか。（次世代育成法と女性活躍推進法の「一体型」を含みます）

全体では、「策定予定はない」が76.6%と最も高く、次いで、「策定済である」(11.1%)、「策定中または策定予定」(8.6%)の順となっています。前回調査と比較すると、「策定済である」の割合が高くなっています。

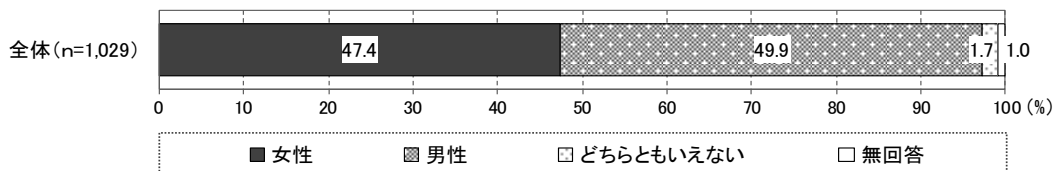


IV 中学生意識調査結果の概要

1. 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

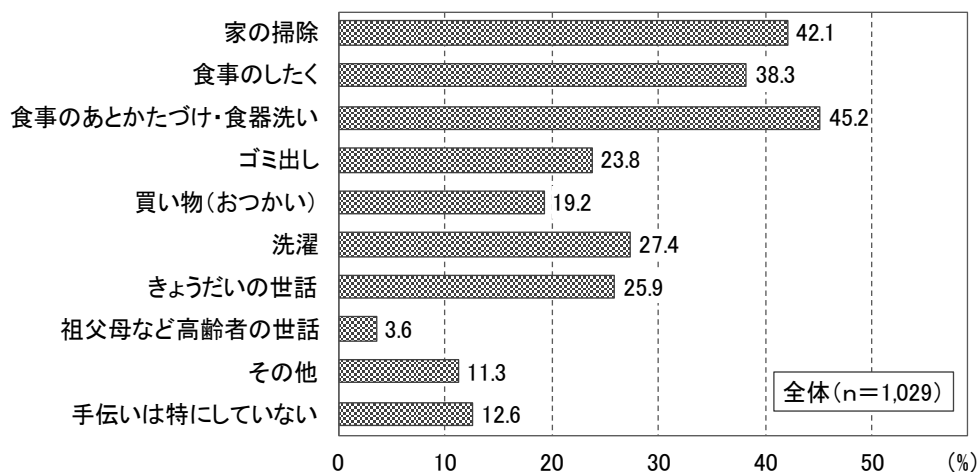
「女性」が47.4%、「男性」が49.9%となっています。前回調査と大差はありません。



2. 家での手伝いについて

問2 あなたは、家の手伝いをしていますか。【複数回答可】

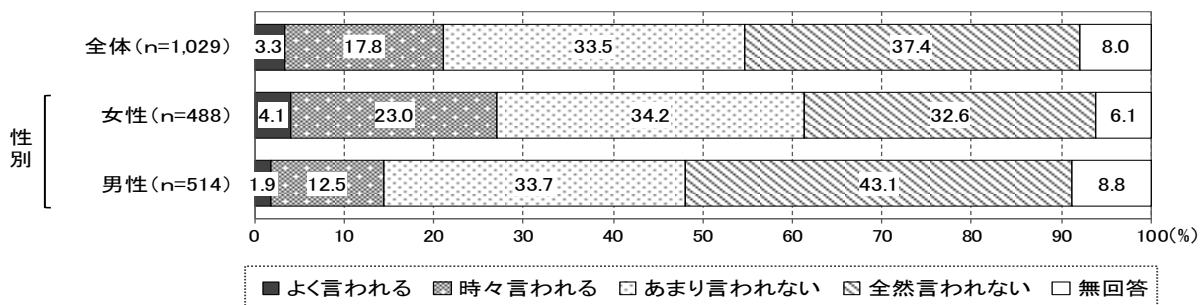
「食事のあとかたづけ・食器洗い」が45.2%と最も高く、次いで、「家の掃除」(42.1%)、「食事のしたく」(38.3%)の順となっています。



3. 男女平等について

問3 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」、または「男・女らしく」、「男・女のくせに」、「男・女なのに」と言われたことがありますか。

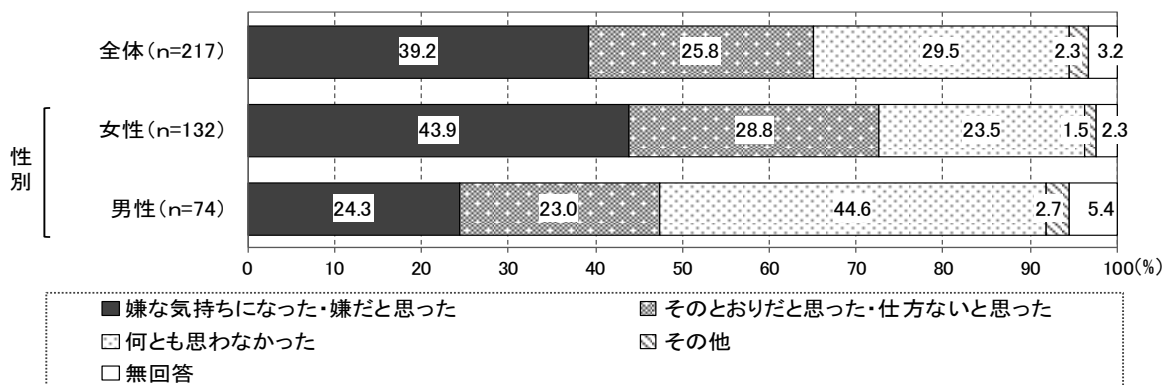
全体では、「全然言われぬ」が37.4%と最も高く、次いで、「あまり言われぬ」(33.5%)の順となっています。前回調査と比較すると、「全然言われぬ」の割合が高くなっています。



問5

◆問3で、「1.」または「2.」（言われる）と答えた方。
 「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われたとき、どんな気持ちでしたか。

全体では、「嫌な気持ちになった・嫌だと思った」が39.2%と最も高く、次いで、「何とも思わなかった」(29.5%)、「そのとおりだと思った・仕方ないと思った」(25.8%)の順となっています。前回調査と比較すると、「嫌な気持ちになった・嫌だと思った」人数と割合は低くなっています。

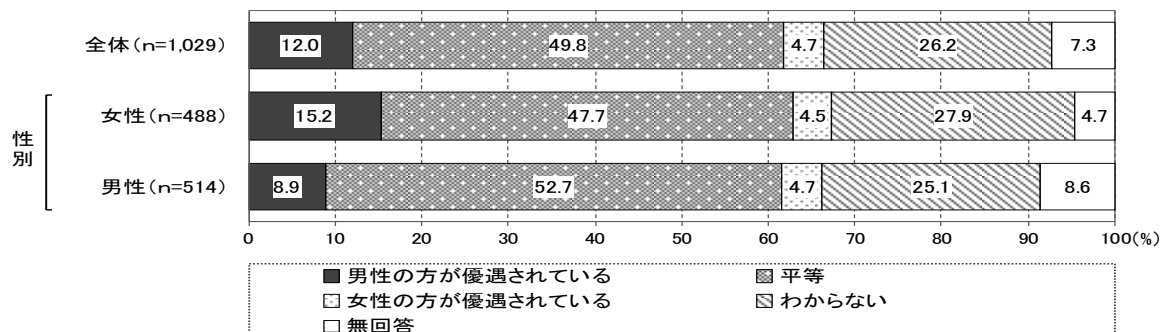


問7

あなたは、今の社会では男女は平等になっていますか。

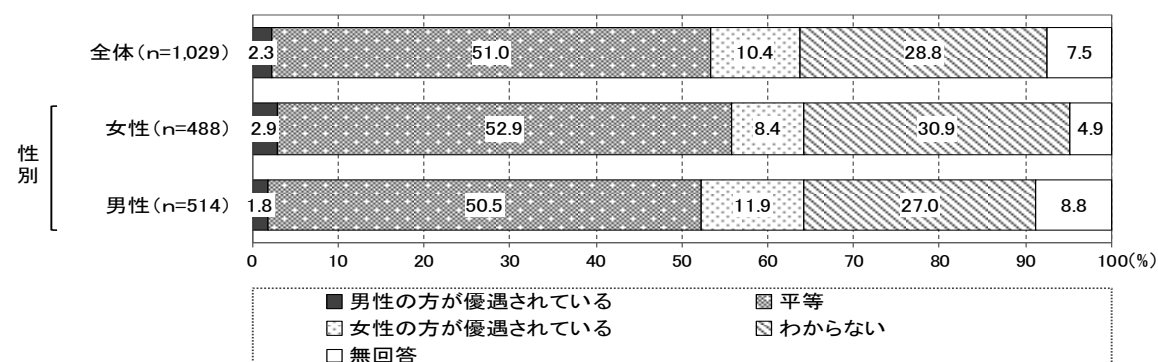
(1) 家庭の中での男女平等

全体では、「平等」が49.8%と最も高く、次いで、「わからない」(26.2%)、「男性の方が優遇されている」(12.0%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



(2) 学校の中での男女平等

全体では、「平等」が51.0%と最も高く、次いで、「わからない」(28.8%)、「女性の方が優遇されている」(10.4%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



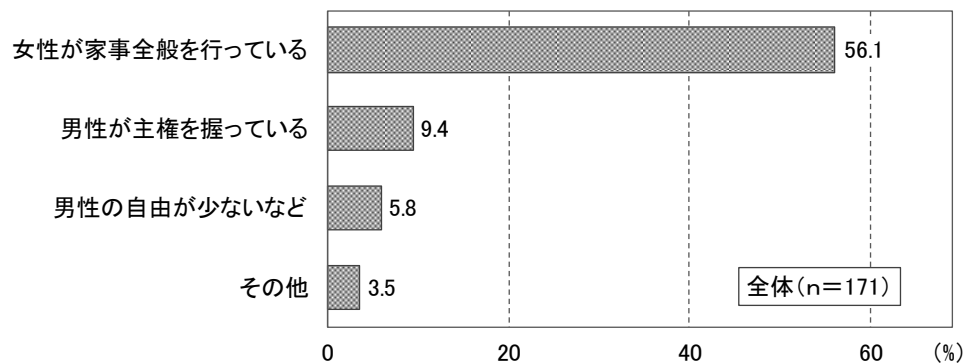
問 7-1

◆問7で、「1.」または「3.」（男性または女性の方が優遇されている）と答えた方。具体的にどんなときに、男女平等でないと思いますか。以下の場面で思い浮かぶことがあればご記入ください。

※回答していただいた記述をカテゴリーに分けて集計し、グラフ化しました。

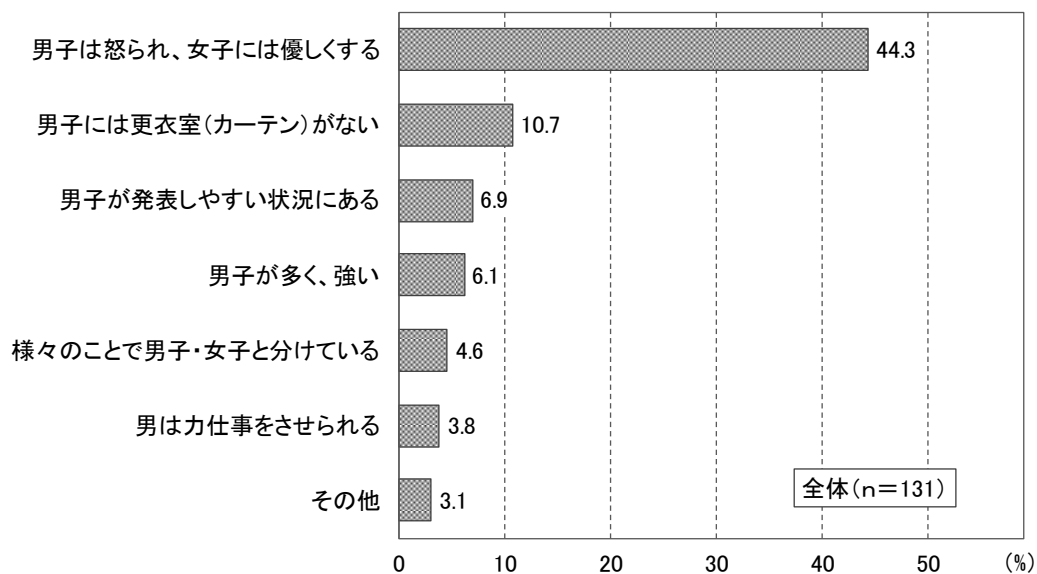
<家庭の中>

「女性が家事全般を行っている」が56.1%と最も高く、次いで、「男性が主権を握っている」(9.4%)、「男性の自由が少ないなど」(5.8%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



<学校の中>

「男子は怒られ、女子には優しくする」が44.3%と最も高く、次いで、「男子には更衣室（カーテン）がない」(10.7%)、「男子が発表しやすい状況にある」(6.9%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

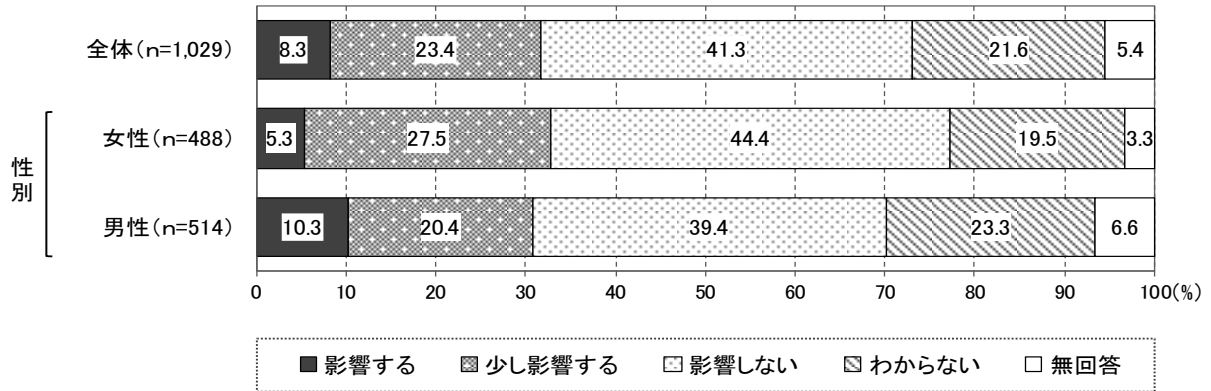


4. 将来について

問9

将来なりたい仕事を実現する上で、「男であること」または「女であること」が影響すると思いますか。

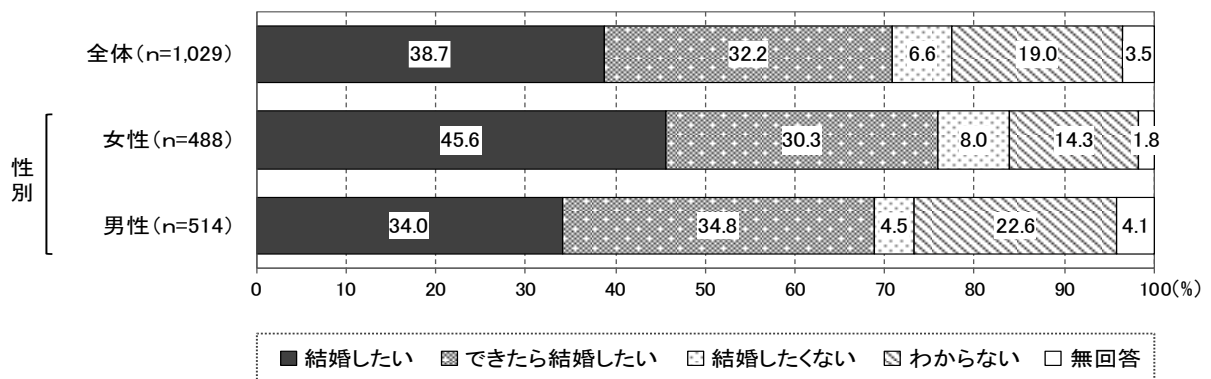
全体では、「影響しない」が41.3%と最も高く、次いで、「少し影響する」(23.4%)、「わからない」(21.6%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



問10

あなたは将来、結婚したいですか。

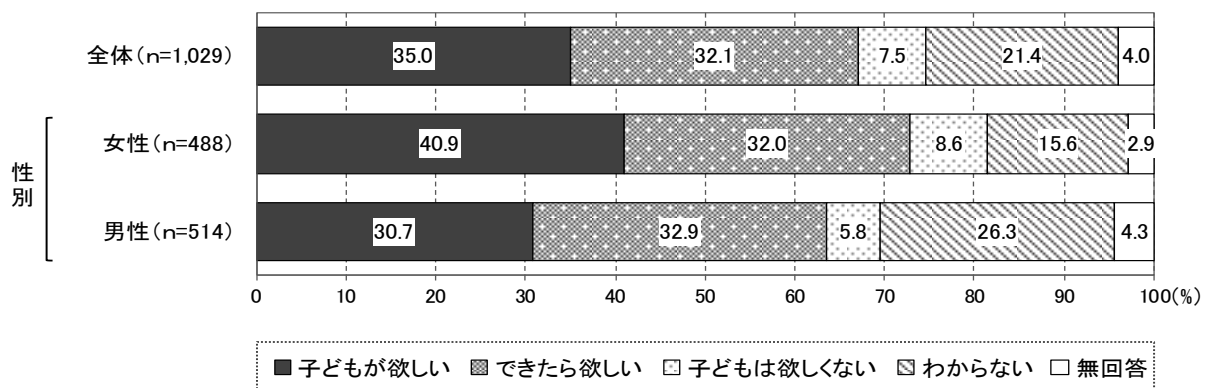
全体では、「結婚したい」が38.7%と最も高く、次いで、「できたら結婚したい」(32.2%)、「わからない」(19.0%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



問11

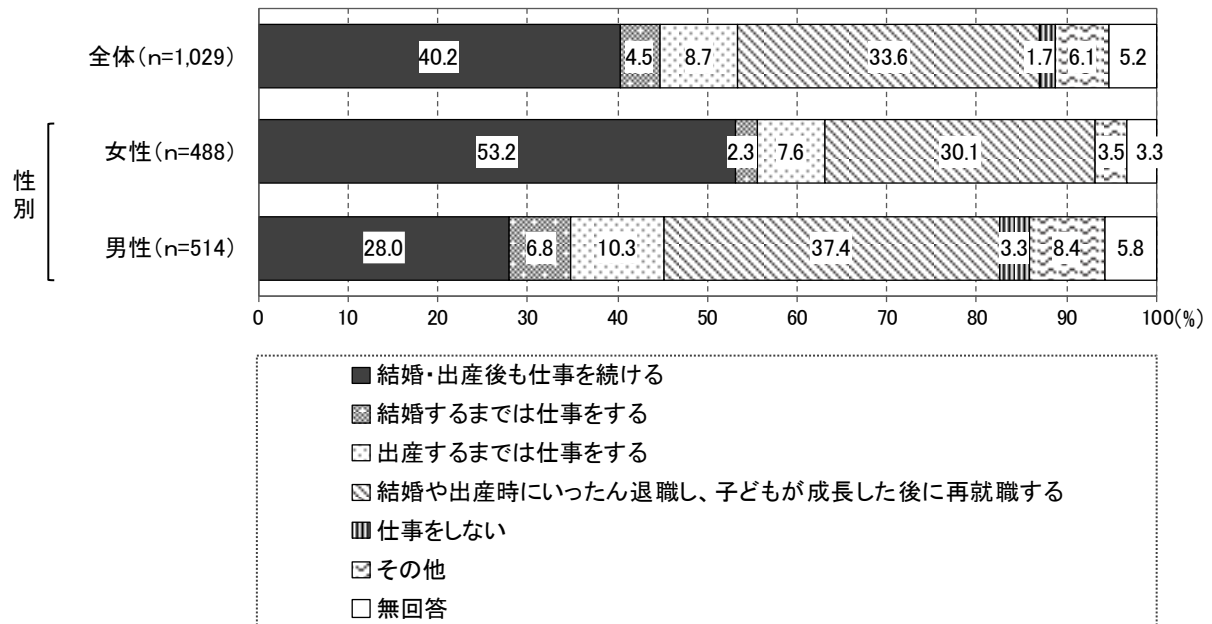
あなたは将来、子どもが欲しいですか。

全体では、「子どもが欲しい」が35.0%と最も高く、次いで、「できたら欲しい」(32.1%)、「わからない」(21.4%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



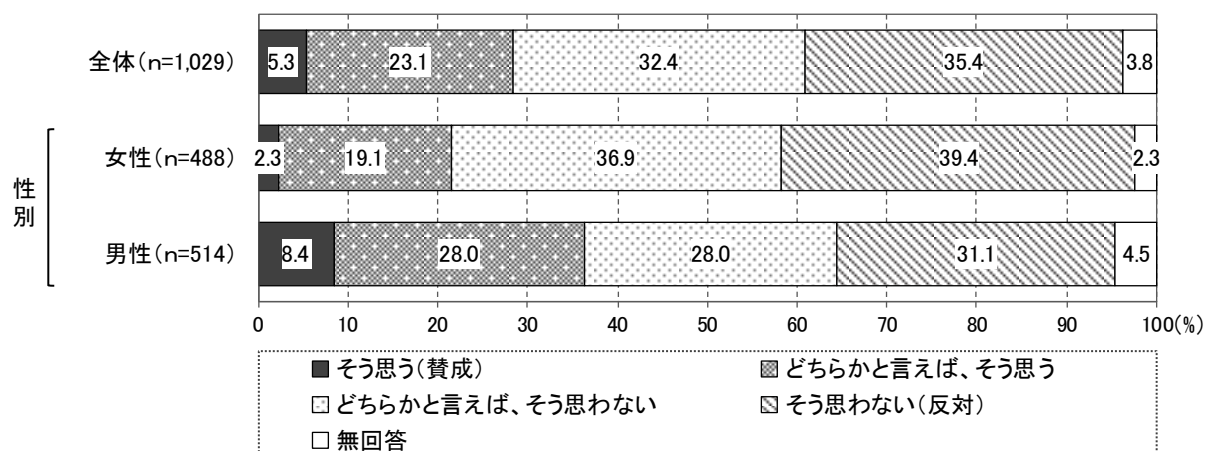
問 12 女性が仕事をするということについて、あなたの理想像は次のうちどれですか。

全体では、「結婚・出産後も仕事を続ける」が40.2%と最も高く、次いで、「結婚や出産時にいったん退職し、子どもが成長した後に再就職する」(33.6%)、「出産するまでは仕事をする」(8.7%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



問 13 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という性別で役割を決める考え方をどう思いますか。

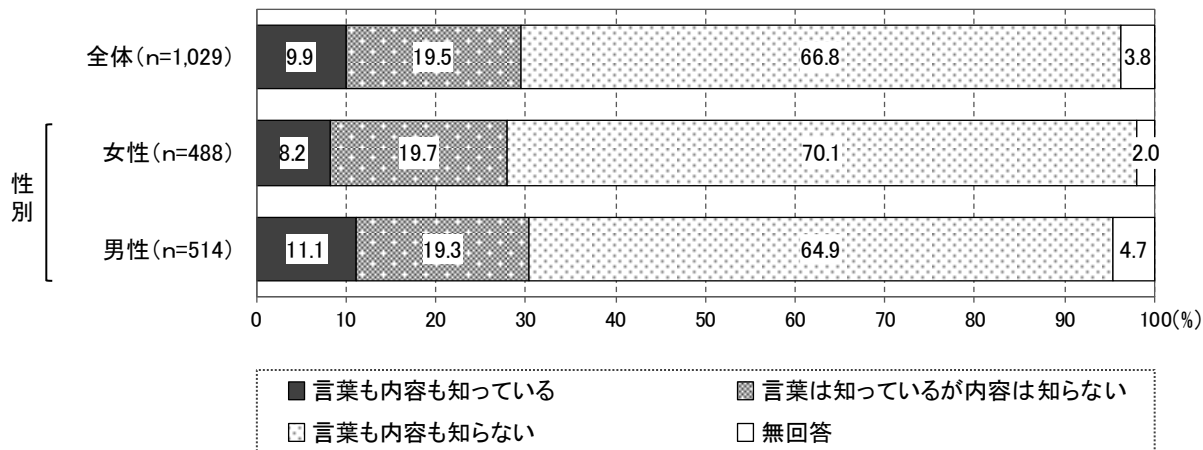
全体では、「そう思う(賛成)」(5.3%)と「どちらかと言えば、そう思う」(23.1%)を合わせた“賛成”が28.4%、「どちらかと言えば、そう思わない」(32.4%)と「そう思わない(反対)」(35.4%)を合わせた“反対”が67.8%となっています。前回調査と比較すると、「どちらかと言えば、そう思わない」と「そう思わない(反対)」を合わせた「反対率」が高くなっています。



5. 男女共同参画社会について

問 14 あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

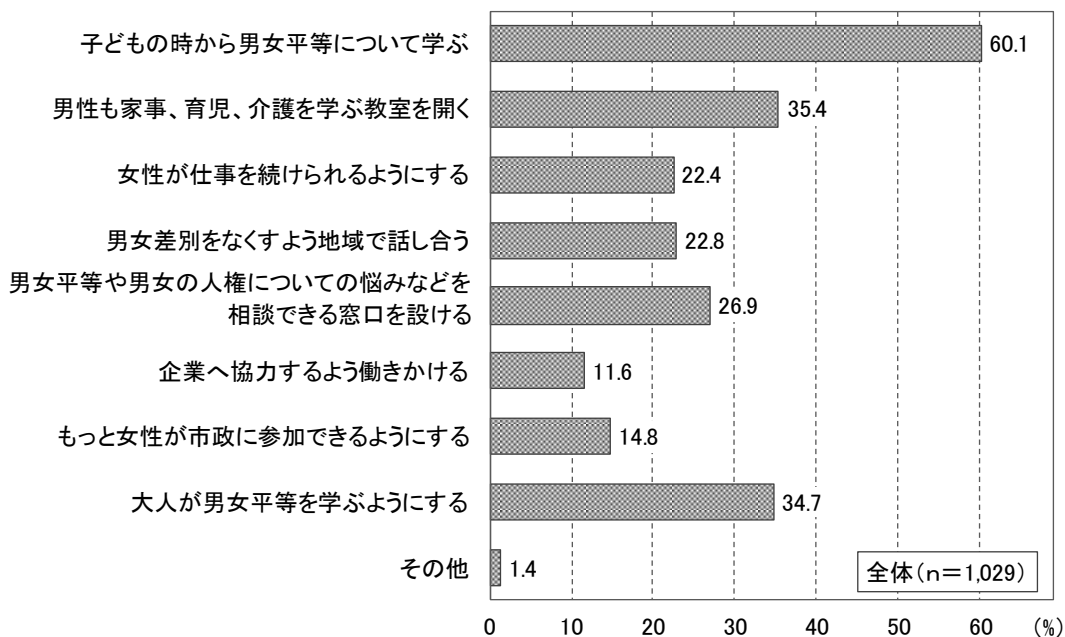
全体では、「言葉も内容も知らない」が66.8%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが内容は知らない」(19.5%)、「言葉も内容も知っている」(9.9%)の順となっています。前回調査と比べると、「聞いたことがある」と「意味や内容まで知っている」を合わせた「認知度率」は男性で高くなっています。



問 15

唐津市は、「男女共同参画社会」の実現を目指して、市民の皆さんと一緒に取り組んでいます。あなたは、これから更にどのようなことに力を入れて取り組んでいったほうがよいと思いますか。【複数回答可】

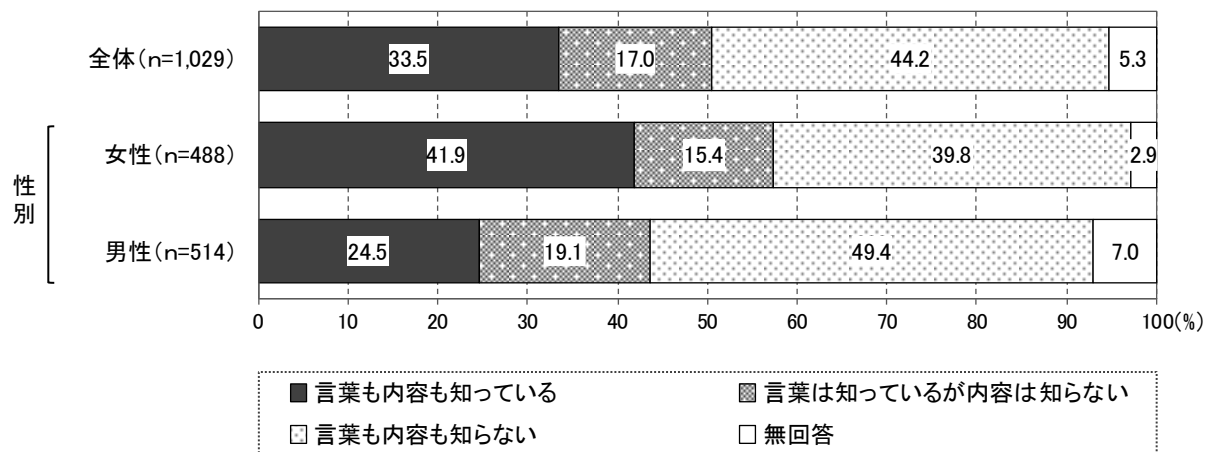
「子どもの時から男女平等について学ぶ」が60.1%と最も高く、次いで、「男性も家事、育児、介護を学ぶ教室を開く」(35.4%)、「大人が男女平等を学ぶようにする」(34.7%)の順となっています。前回調査と大差はありません。



6. 自分らしく生きられる社会について

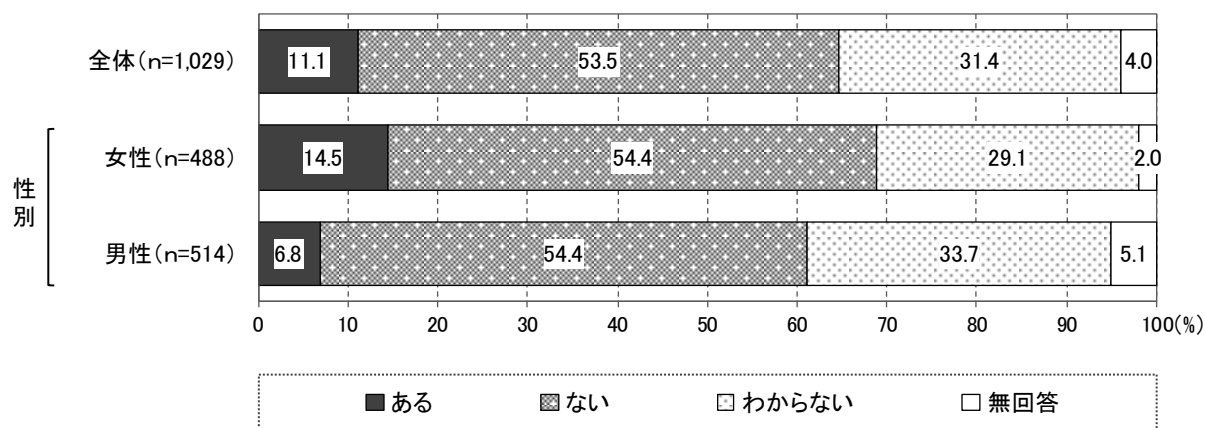
問 16 「LGBTQ+」という言葉を知っていますか。

全体では、「言葉も内容も知らない」が44.2%と最も高く、次いで、「言葉も内容も知っている」(33.5%)、「言葉は知っているが内容は知らない」(17.0%)の順となっています。前回調査と比較すると、「言葉も内容も知らない」の割合が低くなっています。



問 18 「LGBTQ+」に関する差別的な言動を受けたり、見聞きしたことがありますか。

全体では、「ない」が53.5%と最も高く、次いで、「わからない」(31.4%)、「ある」(11.1%)の順となっています。前回調査と比較すると、男性で「ある」の割合が低くなっています。

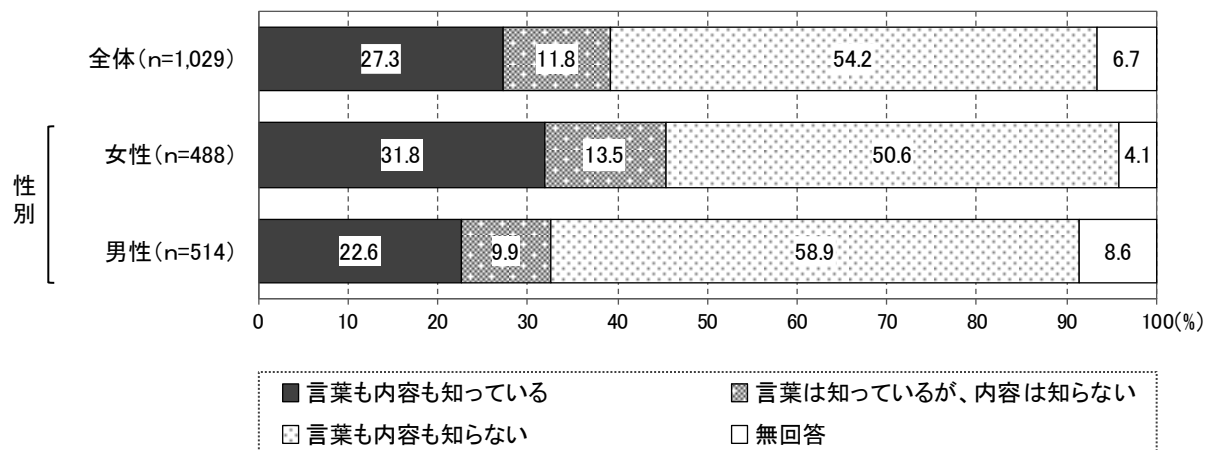


7. 男女間の人権について

成果指標

問 19 「デートDV」という言葉を知っていますか。

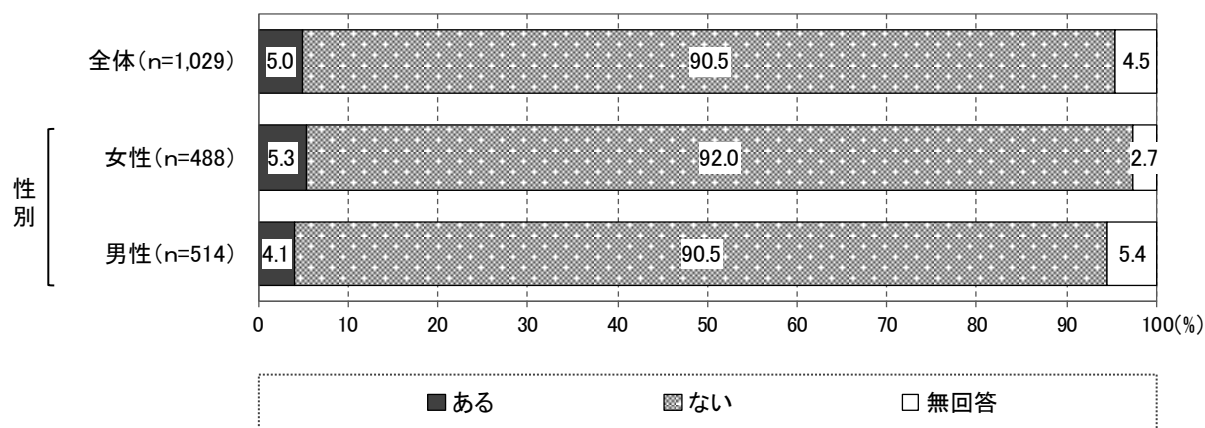
全体では、「言葉も内容も知らない」が54.2%と最も高く、次いで、「言葉も内容も知っている」(27.3%)、「言葉は知っているが、内容は知らない」(11.8%)の順となっています。前回調査と比較すると、「言葉も内容も知らない」の割合が男女ともに高くなっています。



問 21

あなたは、これまでに「デートDV」や「DV」を、身近で見たり、聞いたことがありますか。

全体では、「ない」が90.5%と高く、「ある」が5.0%となっています。前回調査と比較すると、「ある」の割合が高くなっています。

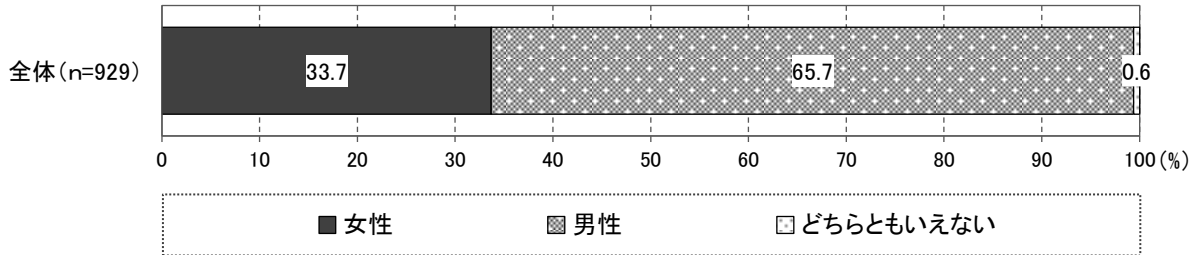


V 職員意識調査結果の概要

1. 属性

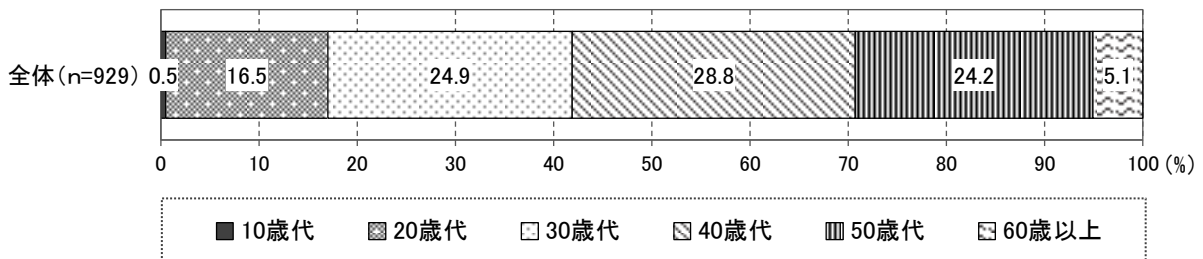
Q1 性別

「女性」が33.7%、「男性」が65.7%となっています。前回調査と大差はありません。



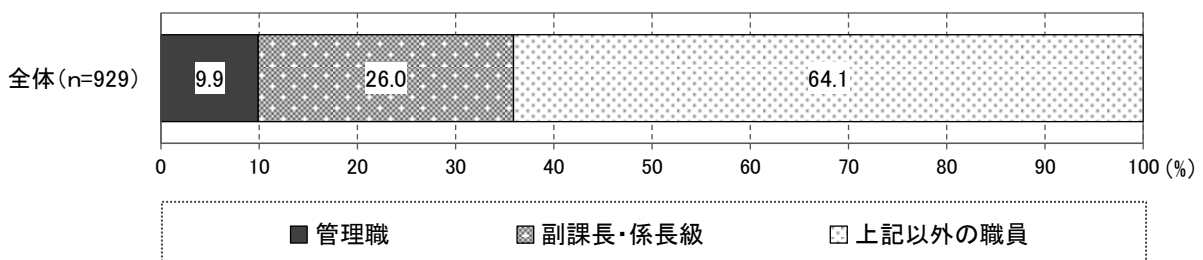
Q2 年齢（年代）

「40歳代」が28.8%と最も高く、次いで、「30歳代」(24.9%)、「50歳代」(24.2%)の順となっています。前回調査と比較すると、30～40歳代の回答割合が高くなっています。



Q3 現在の職級は

「上記以外の職員」が64.1%と最も高く、次いで、「副課長・係長級」(26.0%)、「管理職」(9.9%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

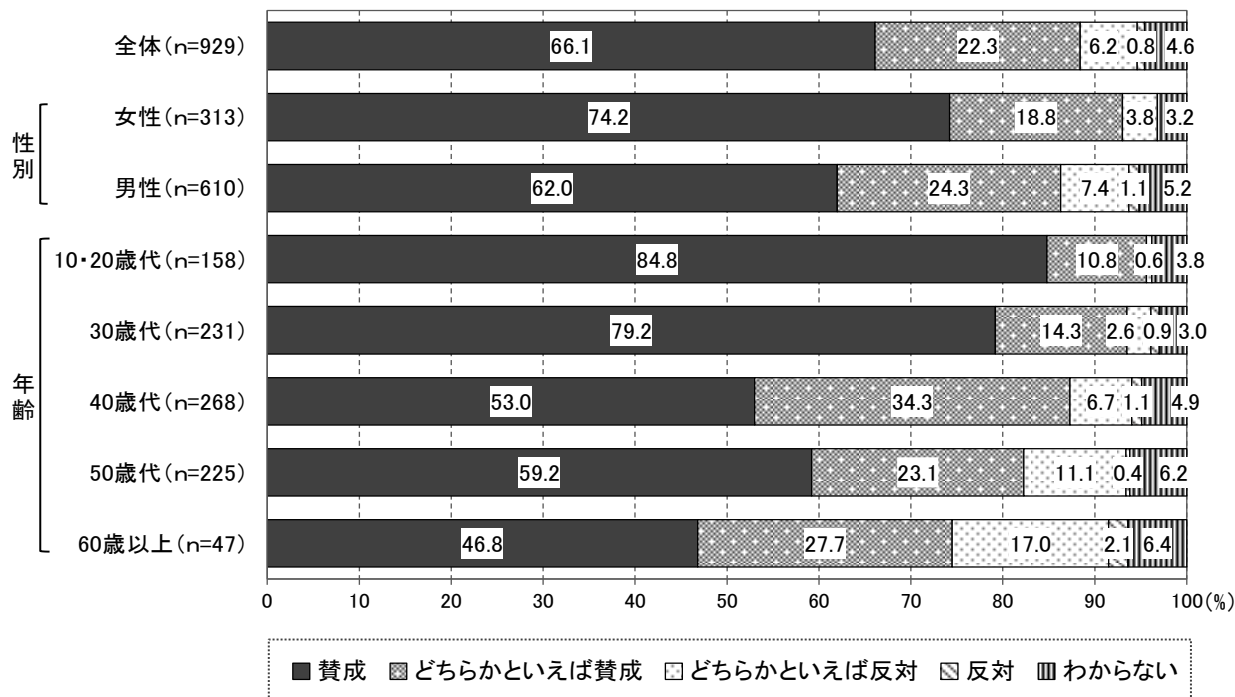


2. 結婚や家庭生活について

問1 あなたの考えに近いものは何ですか。

(1) 結婚は個人の自由なので、結婚してもしなくてもどちらでもよい

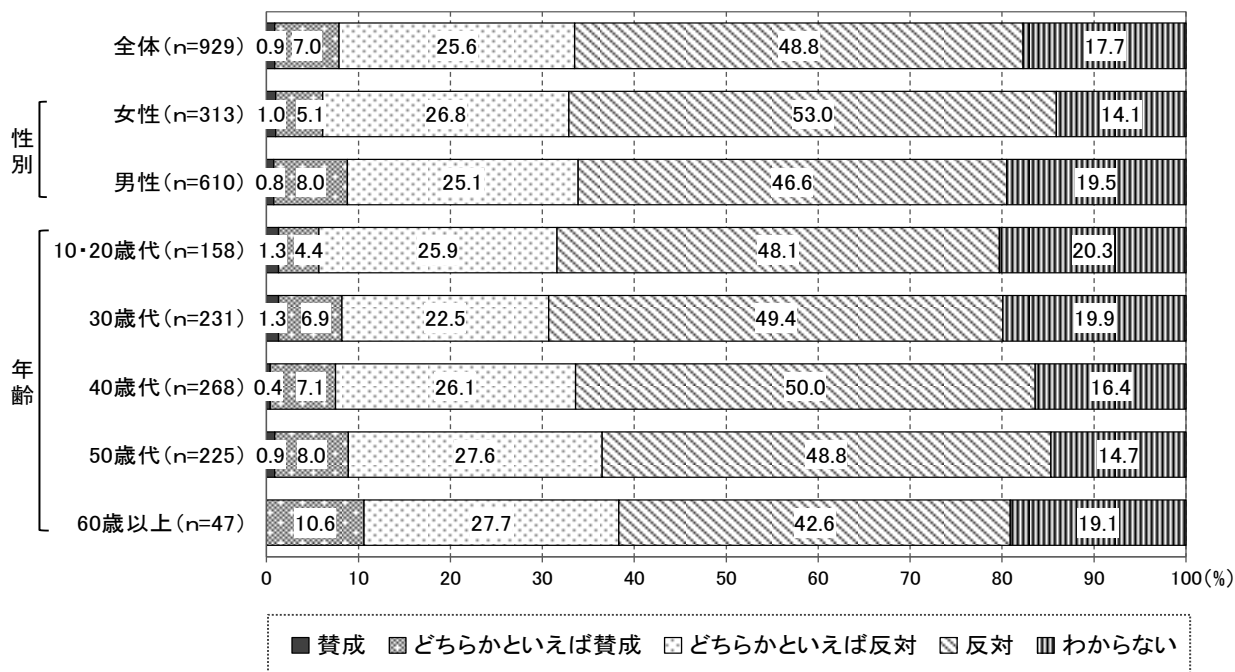
全体では、「賛成」が66.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(22.3%)、「どちらかといえば反対」(6.2%)の順となっています。前回調査と比較すると、「賛成率」の割合が高くなっています。



(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

成果指標

全体では、「反対」が48.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば反対」(25.6%)、「わからない」(17.7%)の順となっています。前回調査と比較すると、「反対率」の割合が高くなっています。



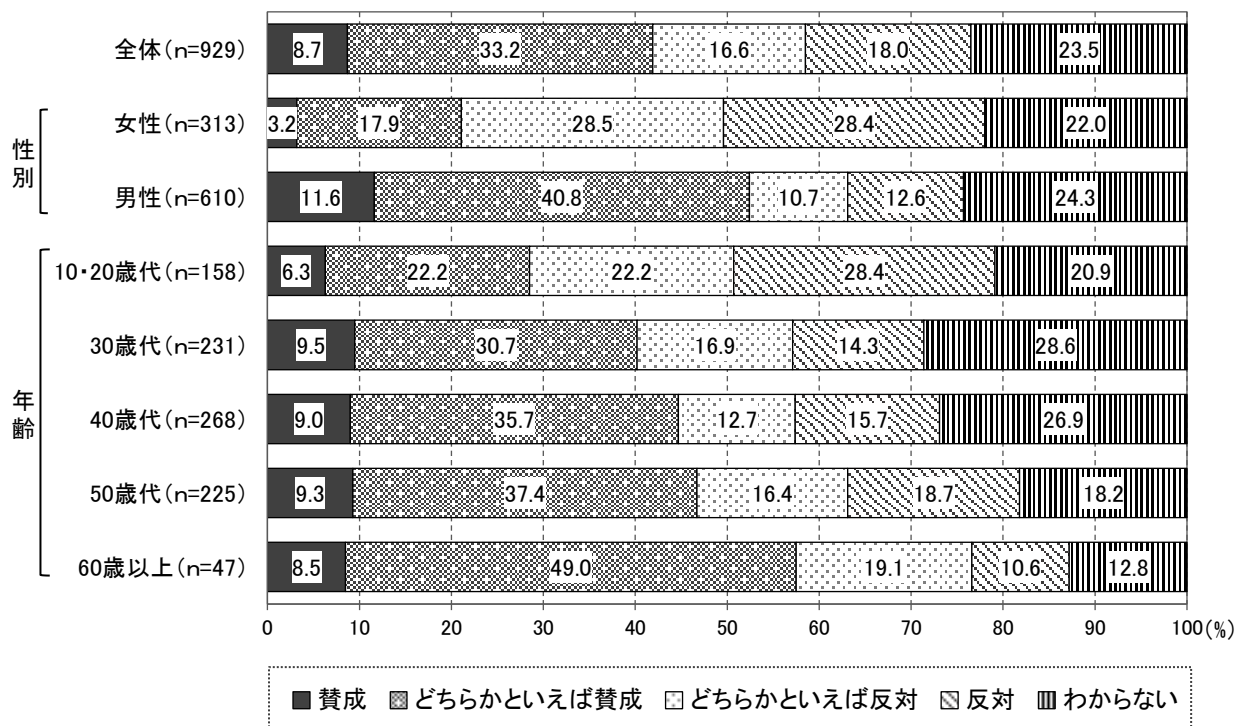
3. 教育・子育てについて

問3

子どもの育て方について、あなたの考えに近いものは何ですか。子どもがいない人も、あなたの考え方をお答えください。

(1) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる

全体では、「どちらかといえば賛成」が33.2%と最も高く、次いで、「わからない」(23.5%)、「反対」(18.0%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

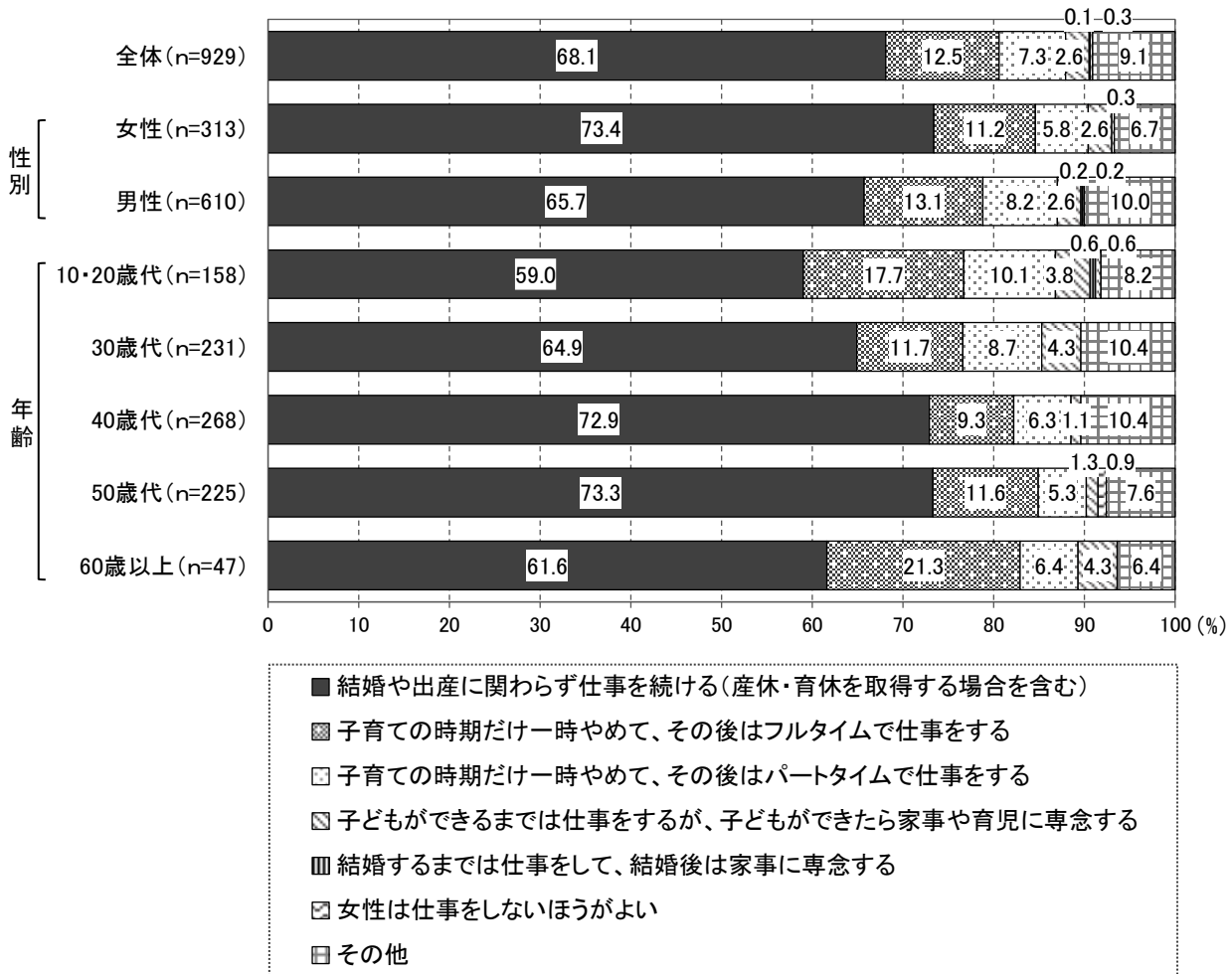


4. 仕事と生活について

問5

女性の働き方についておたずねします。あなたが、女性の働き方として「望ましい」と思うのはどれですか。

全体では、「結婚や出産に関わらず仕事を続ける（産休・育休を取得する場合を含む）」が68.1%と最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事をする」（12.5%）、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事をする」（7.3%）の順となっています。前回調査と大差はありません。

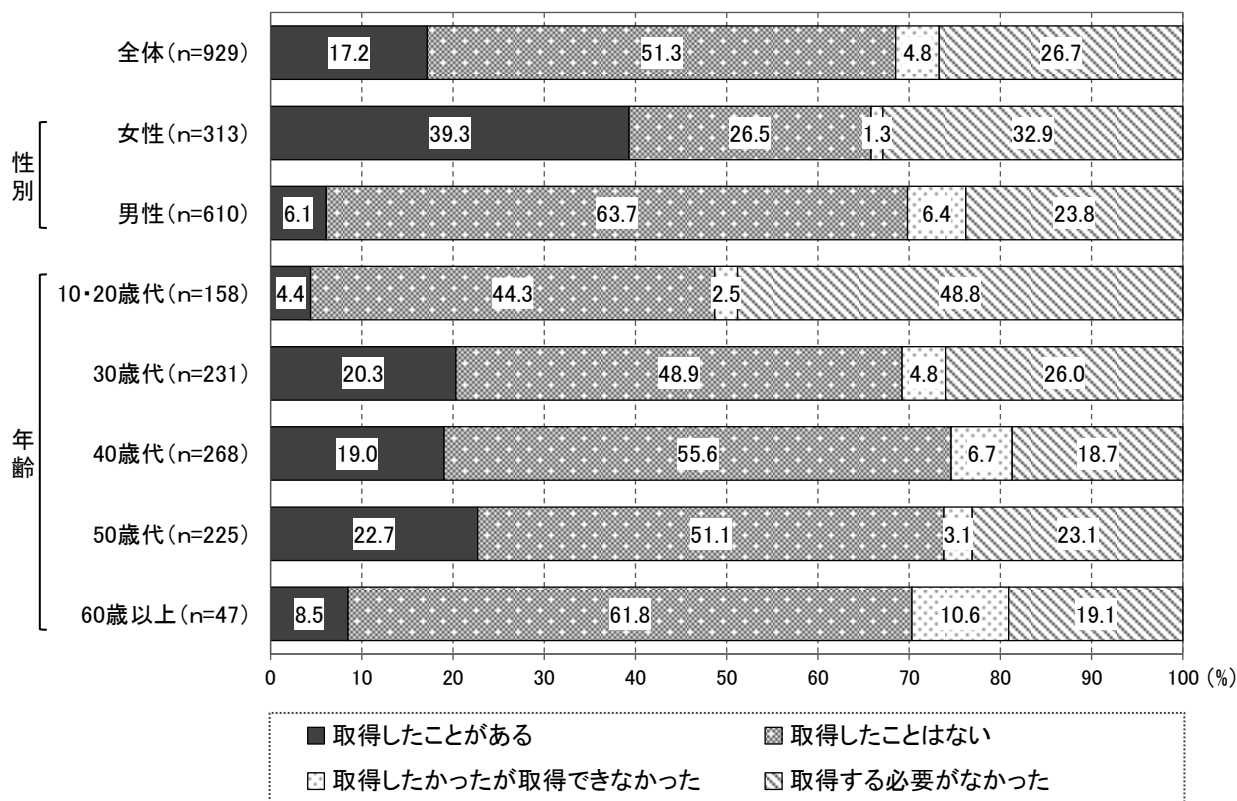


問7

あなたは、これまでに育児休業（産休を除く）や介護休業を取得したことがありますか。

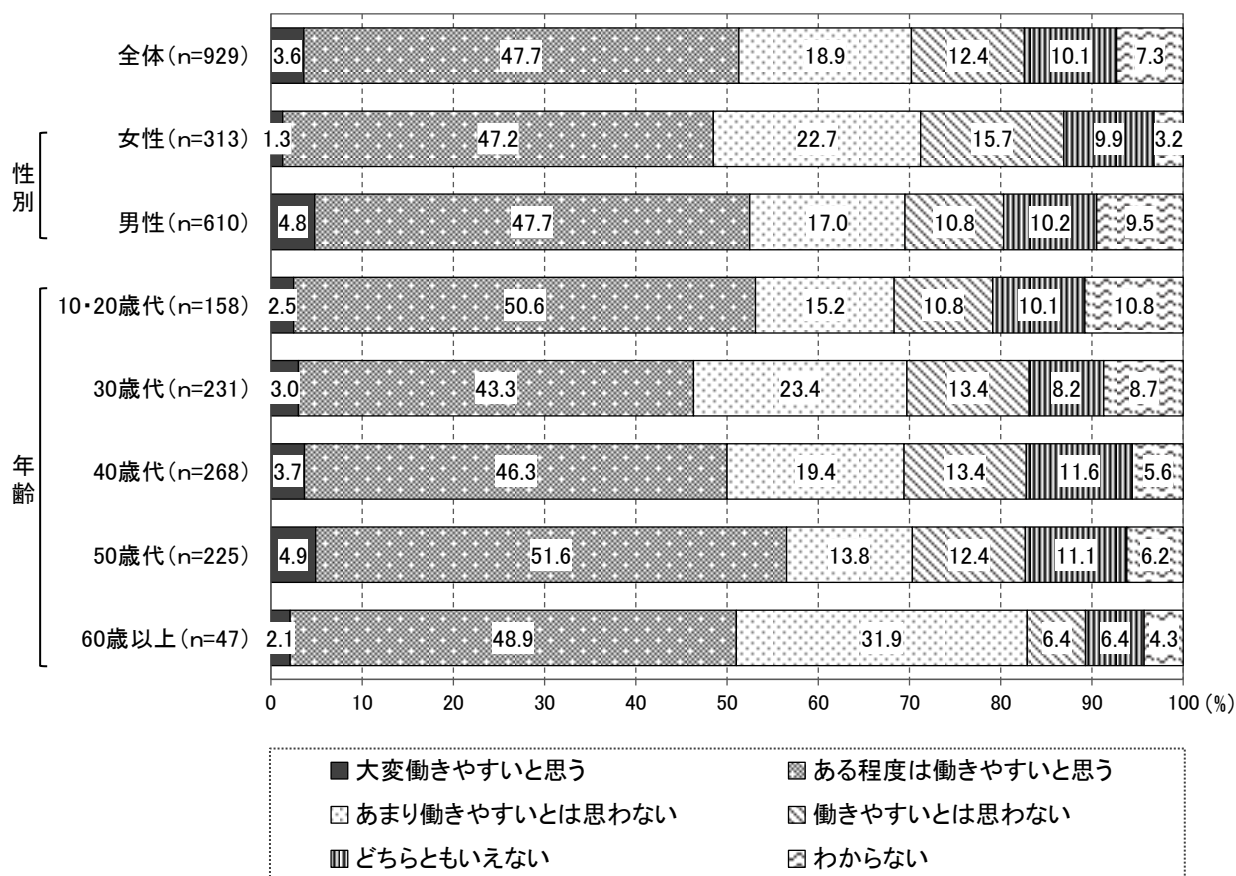
① 育児休業 ※産休を除く

全体では、「取得したことはない」が51.3%と最も高く、次いで、「取得する必要がなかった」(26.7%)、「取得したことがある」(17.2%)の順となっています。



問8 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

全体では、「ある程度は働きやすいと思う」が47.7%と最も高く、次いで、「あまり働きやすいとは思わない」(18.9%)、「働きやすいとは思わない」(12.4%)の順となっています。市民意識調査と大差はありません。

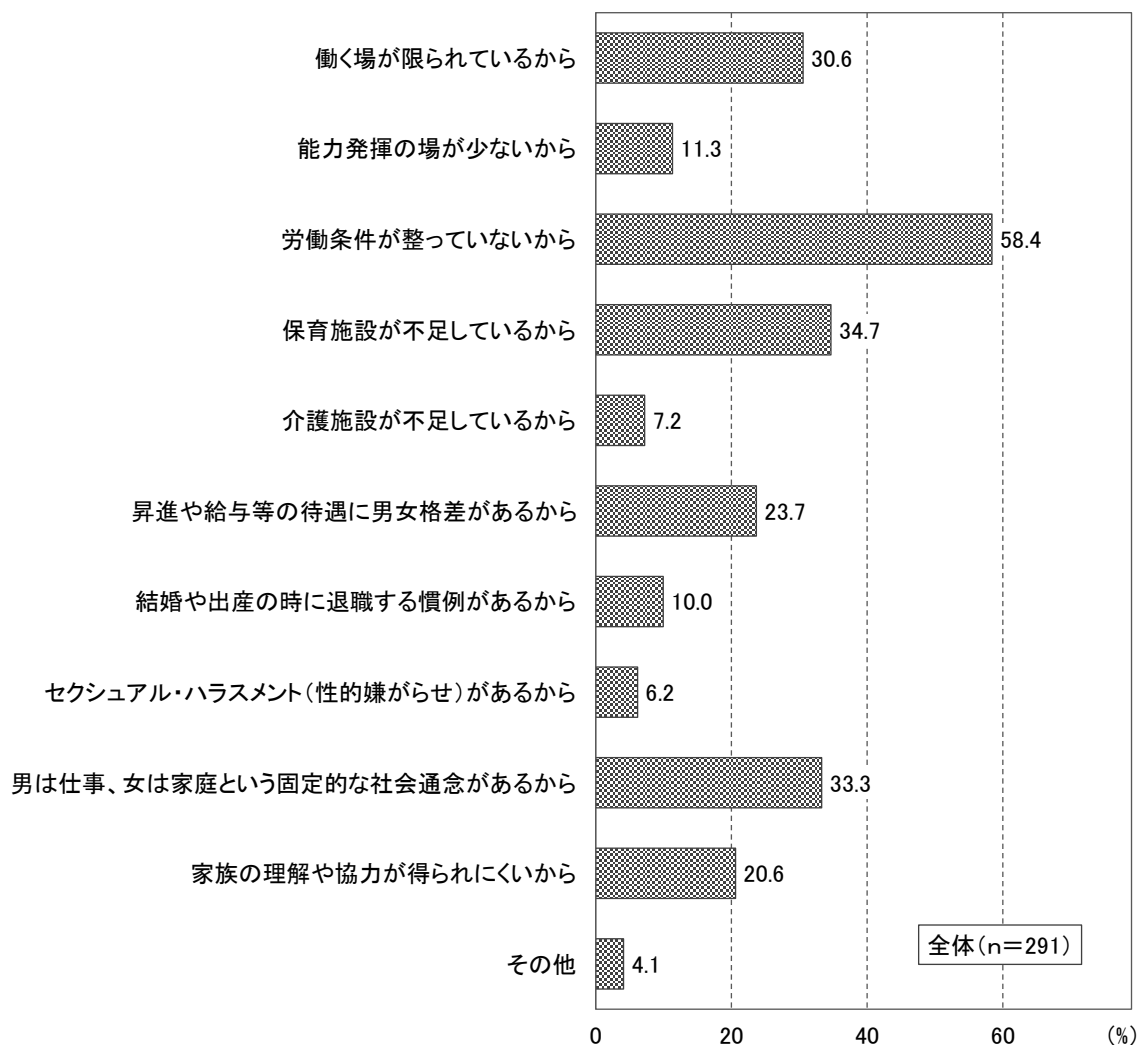


問8-1

◆問8で「3. あまり働きやすいとは思わない」または「4. 働きやすいとは思わない」と回答した方。

そう思わない理由は何ですか。【複数回答可】

「労働条件が整っていないから」が 58.4%と最も高く、次いで、「保育施設が不足しているから」(34.7%)、「男は仕事、女は家庭という固定的な社会通念があるから」(33.3%)の順となっています。市民意識調査と大差はありません。

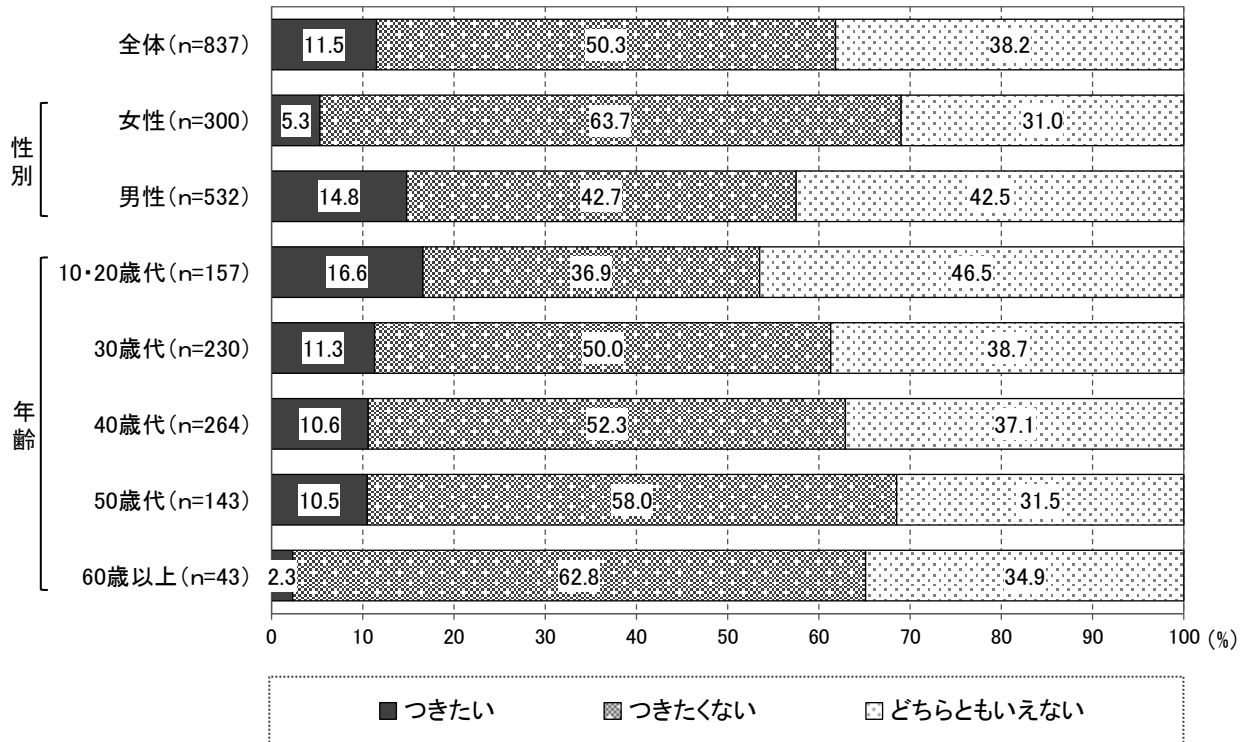


問 16

◆現在、「管理職」以外の人のみ。

あなたは、今後、役職（管理職を含む）につきたいと思いますか。

全体では、「つきたくない」が50.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」(38.2%)、「つきたい」(11.5%)の順となっています。

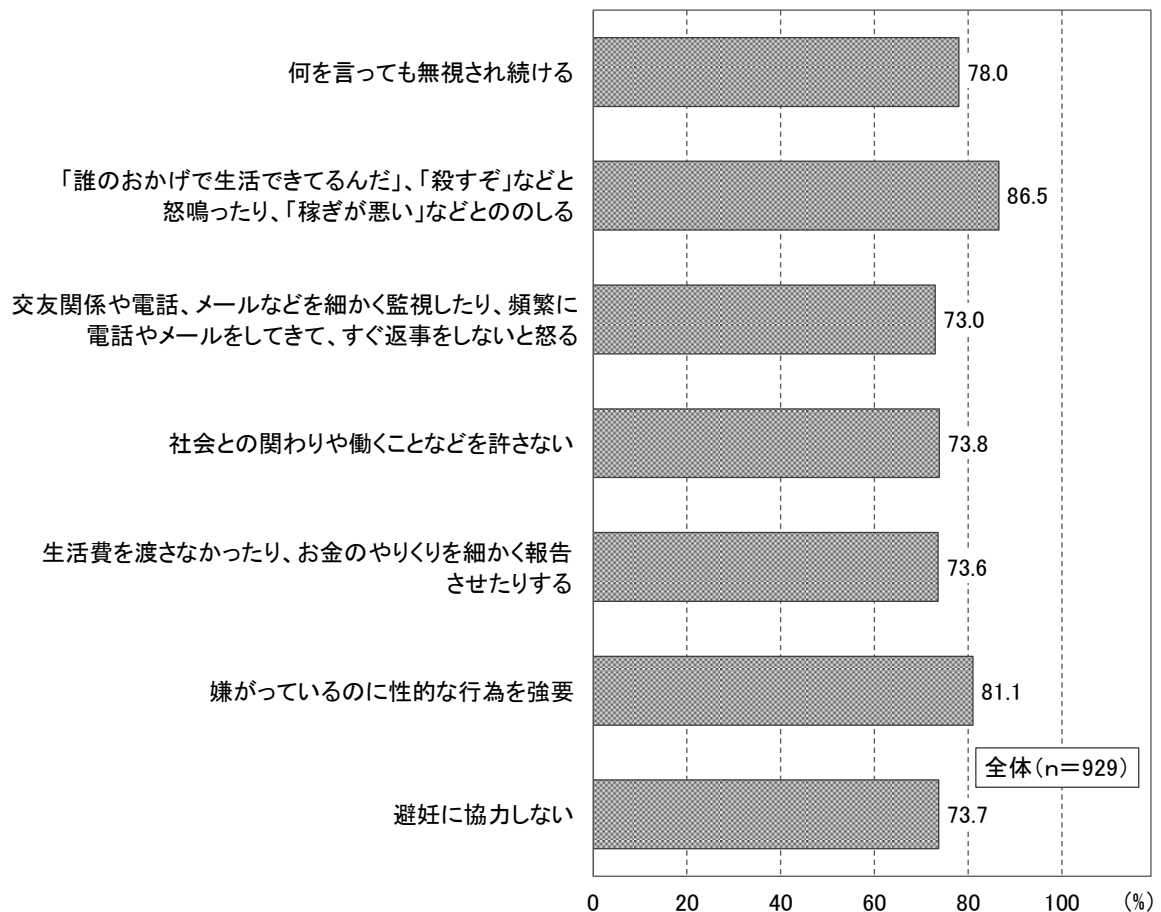


5. 人権尊重について

問 19

夫婦や恋人同士などの親しい間柄で、暴力だと感じるのは次のどのような行為ですか。【複数回答可】

「誰のおかげで生活できてるんだ」、「殺すぞ」などと怒鳴ったり、「稼ぎが悪い」などとののしる」が86.5%と最も高く、次いで、「嫌がっているのに性的な行為を強要」(81.1%)、「何を言っても無視され続ける」(78.0%)の順となっています。市民意識調査と大差はありません。



問 22

「LGBTQ^{プラス}」という言葉を知っていますか。

全体では、「言葉も内容も知っている」が78.0%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが内容は知らない」(18.3%)、「言葉も内容も知らない」(3.7%)の順となっています。前回調査と大差はありません。

